長崎県埋蔵文化財センター調査報告書　第６集

原（はる）の辻（つじ）遺跡

原の辻遺跡出土品再整理事業に伴う報告書

２０１２

長崎県教育委員会

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書　第６集

原の辻遺跡

原の辻遺跡出土品再整理事業に伴う報告書

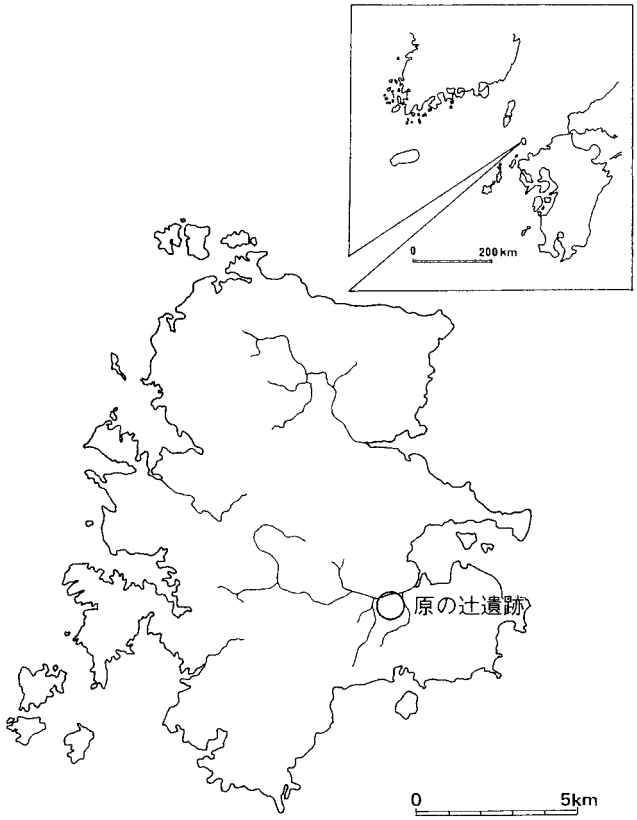


写真１　遺跡遠景

写真２　弥生土器①

写真３　弥生土器②

写真４　石鎌・石包丁

写真５　石斧・石錘

発刊にあたって

原の辻遺跡は明治時代に地元の研究者によって発見されて以来，これまでに多くの発掘調査が行われ，広く注目されてきました。平成５年度から始まった本格的な発掘調査では，丘陵をとりまく多重の環濠や船着き場跡，住居跡など弥生時代を研究する上できわめて重要な遺構の発見が相次ぎました。また，九州本土部や山陰地方，瀬戸内や近畿地方はもとより中国大陸や朝鮮半島の土器などが出土しており，「魏志倭人伝」に“南北市糴”と記述された活発な対外交流がうかがえます。このような発掘調査の成果のもと，原の辻遺跡は「魏志倭人伝」に登場する「一支国」の中心集落と特定され，弥生時代のクニの規模や構造を解明するうえで貴重な遺跡として平成12年11月に国の特別史跡に指定されました。

特別史跡指定後，整備に伴う発掘調査が実施され，平成16年度から壱岐市において遺跡の復元整備が行われ，平成22年に第一次整備〔中心域の復元〕が終了いたしました。復元整備では発掘調査で確認された200棟以上の建物跡の中から，主祭殿をはじめとする特徴ある17棟の建物が復元されています。

また，平成22年３月に長崎県埋蔵文化財センター・壱岐市立一支国博物館がオープンするとともに，原の辻遺跡の実態解明に向けた調査研究も継続して行われています。埋蔵文化財センターには新たに保存処理および科学分析設備を導入し，これまで行われてきた調査研究に加え，考古学的成果を科学的分野から検証をすることができるようになりました。その成果は壱岐市立一支国博物館の展示にも寄与するとともに，県内市町で行われる発掘調査成果に大きく貢献しています。

本書は，これまで原の辻遺跡から出土した10万点を超える資料を再整理し，出土遺物について再調査・研究することで，弥生時代における対外交流史の実態を解明するために編集したものです。

編集に際しては，壱岐市教育委員会文化財課などの多くの方々にご協力いただいたことに深く感謝しますとともに，本書が今後の原の辻遺跡，または弥生時代における対外交流研究の一助になれば幸いです。

平成24年３月31日

長崎県教育委員会教育長

渡　辺　敏　則

例　　言

1．本書は平成23年度緊急雇用創出事業長崎県埋蔵文化財センター・原の辻遺跡出土品再整理事業に伴う報告書である。

2．本書は平成23年度緊急雇用創出事業長崎県埋蔵文化財センター・原の辻遺跡出土品再整理事業の印刷製本費にもとづいて発行した。

3．本事業は長崎県埋蔵文化財センターが主体となって行った。

4．組織は下記の通りである。

所長	金子　眞二
総務課長	北川　和広
東アジア考古学研究室室長	安楽　　勉
調査課長	川道　　寛
係長	町田　利幸
文化財保護主事	古澤　義久
文化財保護主事	田口　貴久
主事	生方　佑典
文化財保護主事（研修員）	林　　隆広
文化財調査員	松尾　奈美

5．本書に収録した遺物の実測および製図は長崎県埋蔵文化財センターが行った。

6．本書に収録した遺物や記録類は長崎県埋蔵文化財センターで保管している。

7．本書では挿図図版を「図」，表組図版を「表」，写真図版を「写真」で表記している。

8．遺物写真はⅡ章を林が，Ⅲ章を古澤が撮影した。

9．本書の執筆はⅠ章およびⅡ章を林が，Ⅲ章を古澤が行った。

本 文 目 次

Ⅰ章　本事業について……1

Ⅱ章　弥生土器・石器・装身具……1

Ⅲ章　外来系土器……39

図　目　次

図１　県124集　土器①……2
図２　県124集　土器②……3
図３　県124集　土器③……4
図４　県124集　土器④　石器①……5
図５　県124集　石器②……6
図６　原調事５集　土器……7
図７　原調事５集　石器①……8
図８　原調事５集　石器②……9
図９　原調事５集　石器③　土製品・ガラス製品……10
図10　原調事９集　石器①……11
図11　原調事９集　石器②……12
図12　原調事１，４，11集（土器・石器・土製品）……13
図13　原調事15，16，18集（土器・石器・土製品）……14
図14　原調事19集　土器……15
図15　原調事19，21，24，25，26集（土器・石器・管玉）……16
図16　原調事27，28，29，31，33，35集（土器・石器・土製品）……17
図17　原調事１，４集　外来系土器①（１/２）……41
図18　原調事９，11，16集　外来系土器②（１/２）……42
図19　原調事18，19集　外来系土器③（１/２）……43
図20　原調事19集　外来系土器④（１/２）……44
図21　原調事19集　外来系土器⑤（１/２）……45
図22　原調事19，20，22集　外来系土器⑥（１/２）……46

表　目　次

表１　遺物観察表（弥生土器・石器・装身具）……18～21
表２　遺物観察表（外来系土器）……40

写 真 目 次

写真１　遺跡遠景＜カラー＞
写真２　弥生土器①＜カラー＞
写真３　弥生土器②＜カラー＞
写真４　石鎌・石包丁＜カラー＞
写真５　石斧・石錘＜カラー＞
写真６　土器①……22
写真７　土器②……23
写真８　土器③……24
写真９　土器④……25
写真10　土器⑤……26
写真11　土器⑥……27
写真12　土器⑦……28
写真13　土器⑧……29
写真14　土器⑨……30
写真15　石器①……31
写真16　石器②……32
写真17　石器③……33
写真18　石器④……34
写真19　石器⑤……35
写真20　石器⑥……36
写真21　石器⑦・装身具……37
写真22　外来系土器①　外面（約１／２）……47
写真23　外来系土器①　内面（約１／２）……48
写真24　外来系土器②　外面（約１／２）……49
写真25　外来系土器②　内面（約１／２）……50
写真26　外来系土器③　外面（約１／２）……51
写真27　外来系土器③　内面（約１／２）……52
写真28　外来系土器④　外面（約１／２）……53
写真29　外来系土器④　内面（約１／２）……54
写真30　外来系土器⑤　外面（約１／２）……55
写真31　外来系土器⑤　内面（約１／２）……56
写真32　外来系土器⑥　外面（約１／２）……57
写真33　外来系土器⑥　内面（約１／２）……58

Ⅰ章　本事業について

本事業は「平成23年度緊急雇用創出事業長崎県埋蔵文化財センター・原の辻遺跡出土品再整理事業」である。

事業計画書で「長崎県を代表する原の辻遺跡は、国の特別史跡に指定されており、これまで発掘調査が継続され、膨大な遺物が出土している。なかでも東アジアとの交流を物語る無文土器や木製品などの重要資料が未報告のままであり、公開・活用できない状態である。そのため遺物の再整理を実施し、国の重要文化財指定に向けた基礎資料を得るとともに博物館等での公開・活用に供する。あわせて重要文化財指定の要件となる報告書を刊行して成果を情報発信することを目的とする」とし、この目的に沿って未報告資料の分類、実測、トレースを行い、報告書を編集した。

本事業は平成23年４月から平成24年３月にかけて実施した。本事業の実施のために雇用した整理作業員は延べ875人／日である。

Ⅱ章　弥生土器・石器・装身具

本章では弥生土器および石器、装身具を報告する。報告数は土器が104点、石器が74点、装身具が２点である。いずれもこれまでの本報告書に掲載されていない資料である。遺物個々の情報については記述を省略する。そのため詳細は遺物観察表（弥生土器・石器・装身具）（表１）を参照いただきたい。

なお、遺物実測図キャプションおよび遺物観察表「帰属調査」欄の県124は「長崎県文化財調査報告書124集」、原調事は「原の辻遺跡調査事務所調査報告書」の略である。今回報告した遺物の帰属する調査を以下に示す。

NK124…『原の辻遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備）に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書～（1995）
NH01…『原の辻遺跡・安国寺前Ａ遺跡・安国寺前Ｂ遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ～（1997）
NH04…『原の辻遺跡』『鶴田遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅲ～（1998）
NH05…『原の辻遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画（圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅳ～（1998）
NH09…『原の辻遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画に係る幡鉾川河川改修に伴う緊急発掘調査報告書（上下）～（1998）
NH11…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡発掘調査事業に係る範囲確認調査報告書Ⅰ～（1999）
NH15…『原の辻遺跡』～幡鉾川流域総合整備計画（県営圃場整備事業）に伴う緊急発掘調査報告書Ⅷ～（1999）
NH16…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡特定調査事業発掘調査報告書Ⅰ（船着き場付近水路等状況調査）～（1999）
NH18…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡発掘調査事業に係る範囲確認調査報告書～（2000）
NH19…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡特定調査事業発掘調査報告書Ⅱ（環濠等状況調査）～（2000）
NH21…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡特定調査事業発掘調査報告書Ⅲ（環濠等状況調査２）～（2000）
NH24…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡特定調査事業発掘調査報告書Ⅳ（環濠等状況調査３）～（2002）
NH25…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡発掘調査事業に係わる範囲確認調査報告書Ⅳ～（2002）
NH26…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡調査研究事業調査報告書～（2003）
NH27…『原の辻遺跡』～主要地方道勝本石田線道路改良工事に伴う調査報告書①～（2004）
NH28…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡調査研究事業調査報告書～（2004）
NH29…『原の辻遺跡』～主要地方道勝本石田線道路改良工事に伴う調査報告書②～（2005）
NH31…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡調査研究事業調査報告書～（2005）
NH33…『原の辻遺跡』～原の辻遺跡調査研究事業調査報告書～（2006）
NH35…『原の辻遺跡』～石田大原墓域緊急調査報告書～（2007）

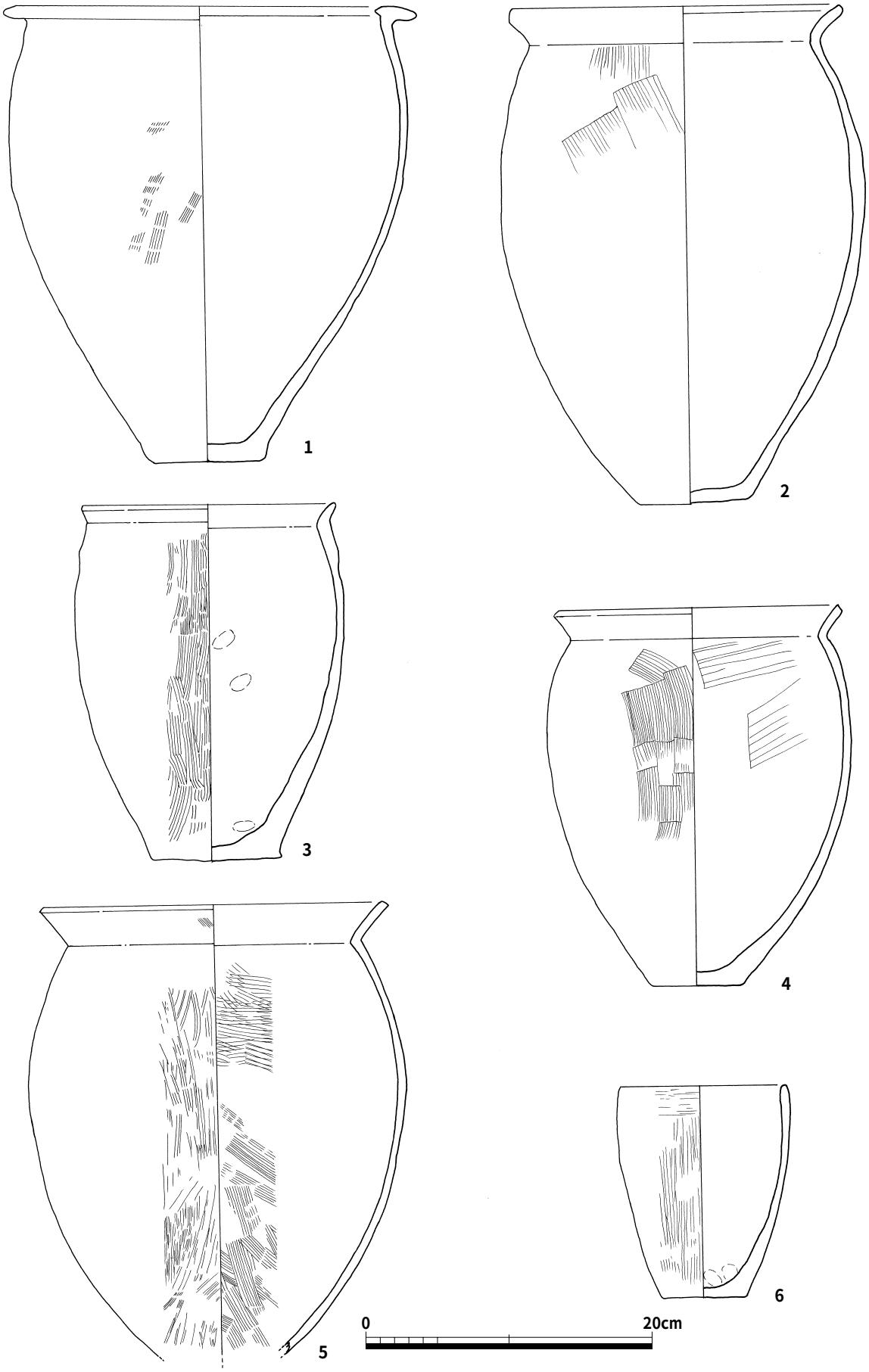


図１　県124集　土器①（1/4）

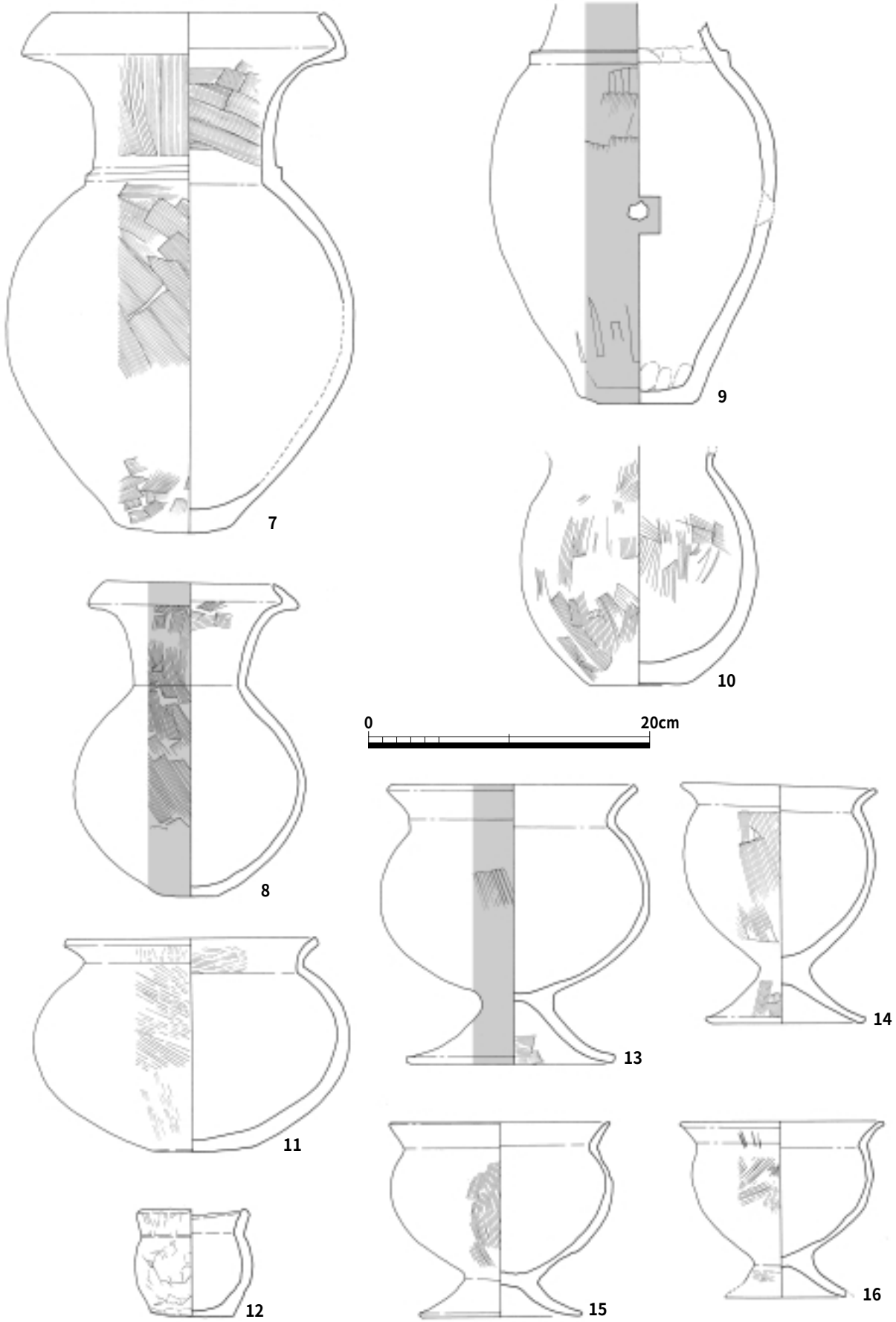


図２　県124集　土器②（１/４）

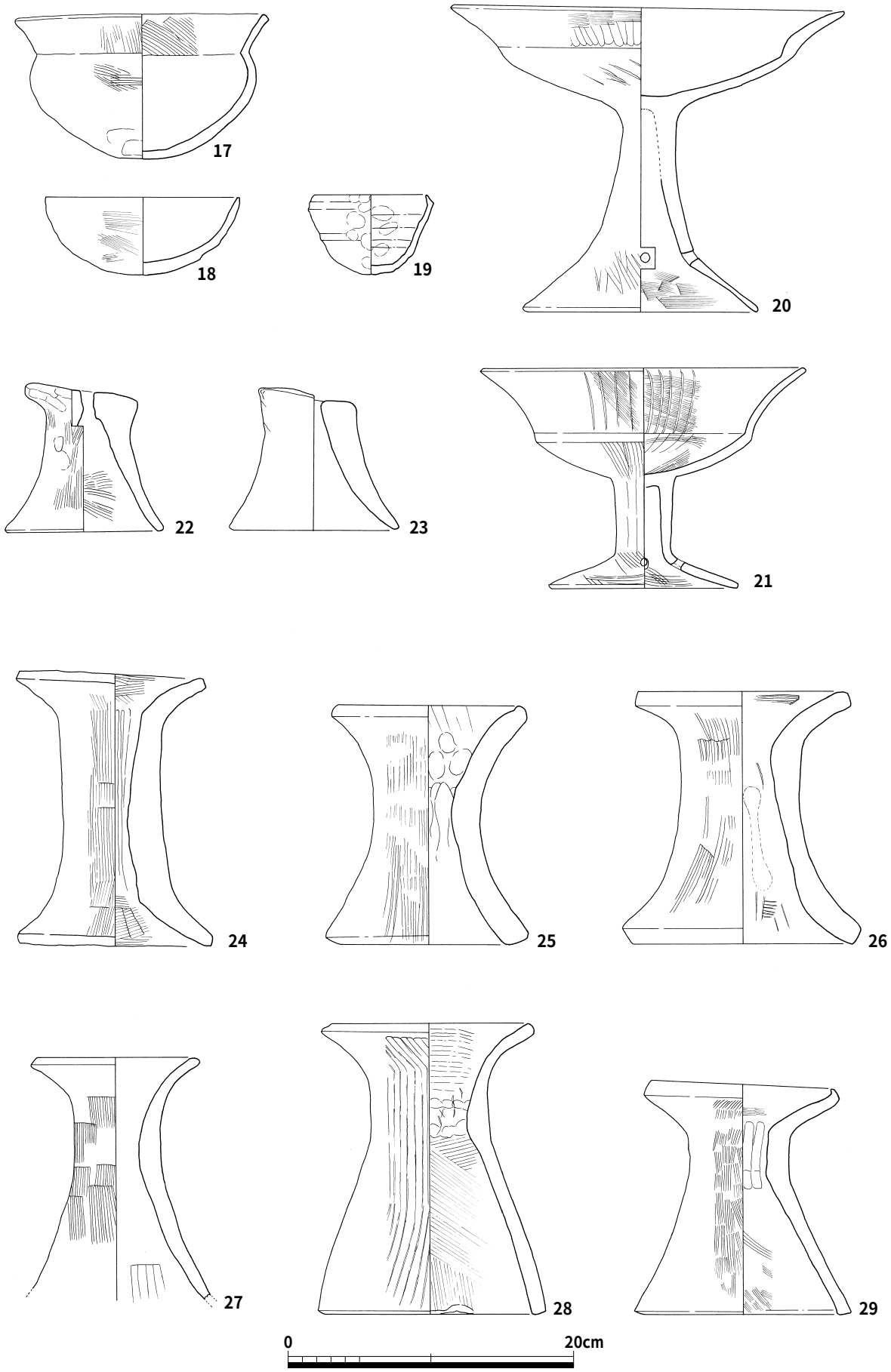


図３　県124集　土器③（1/4）

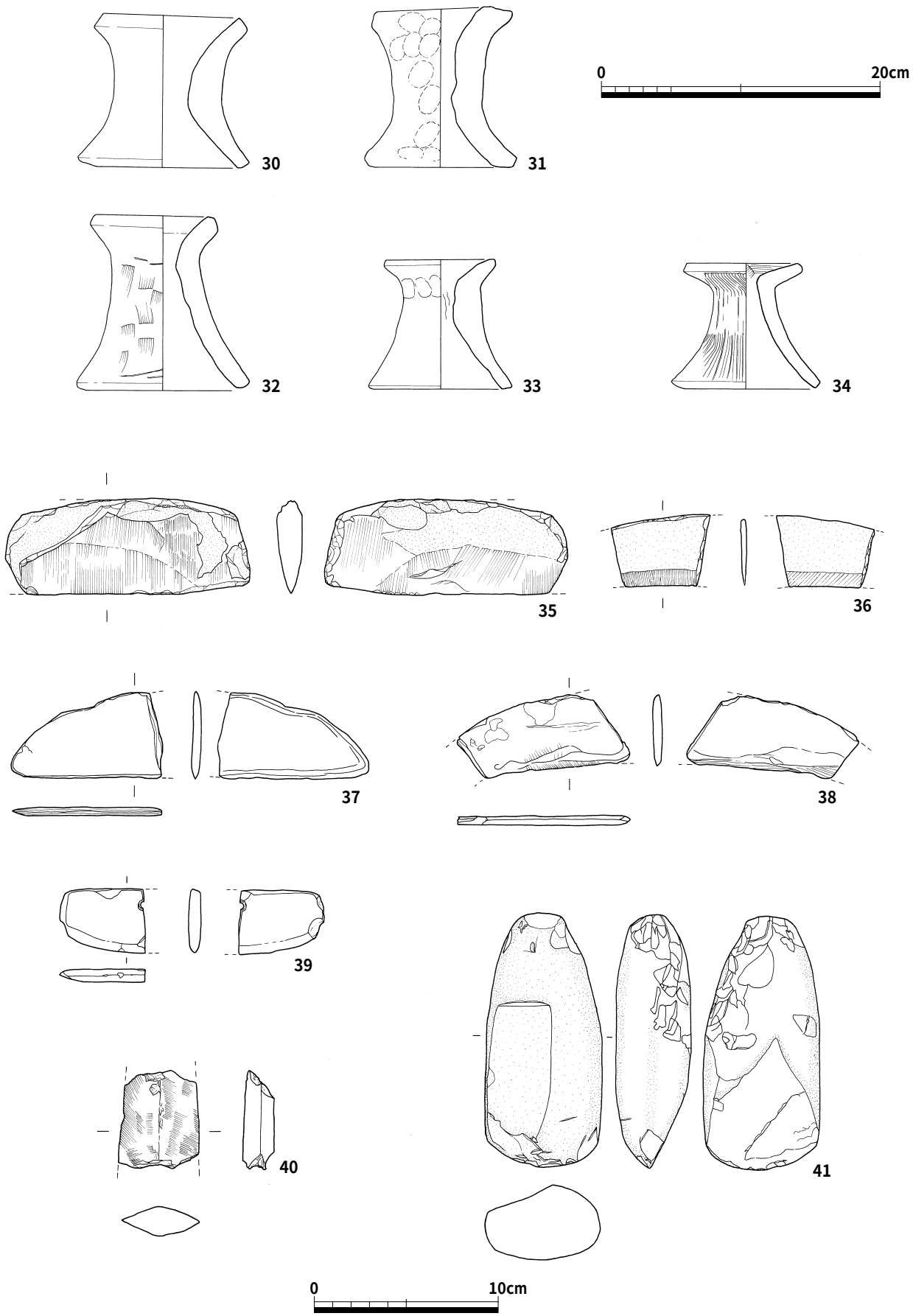


図４　県124集　土器④（1/4）石器①（1/3）

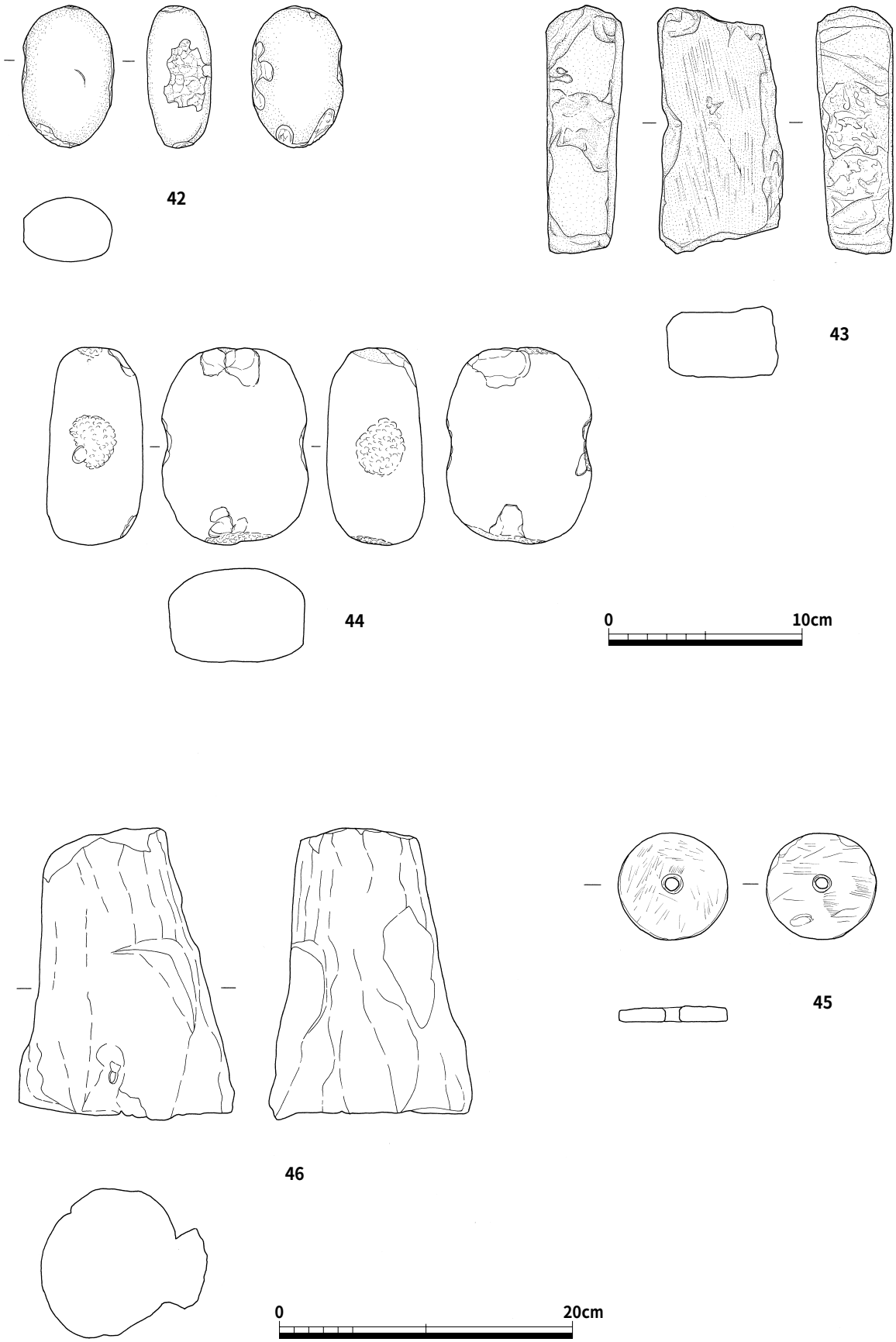


図5　県124集　石器②（1/3　46：1/4）

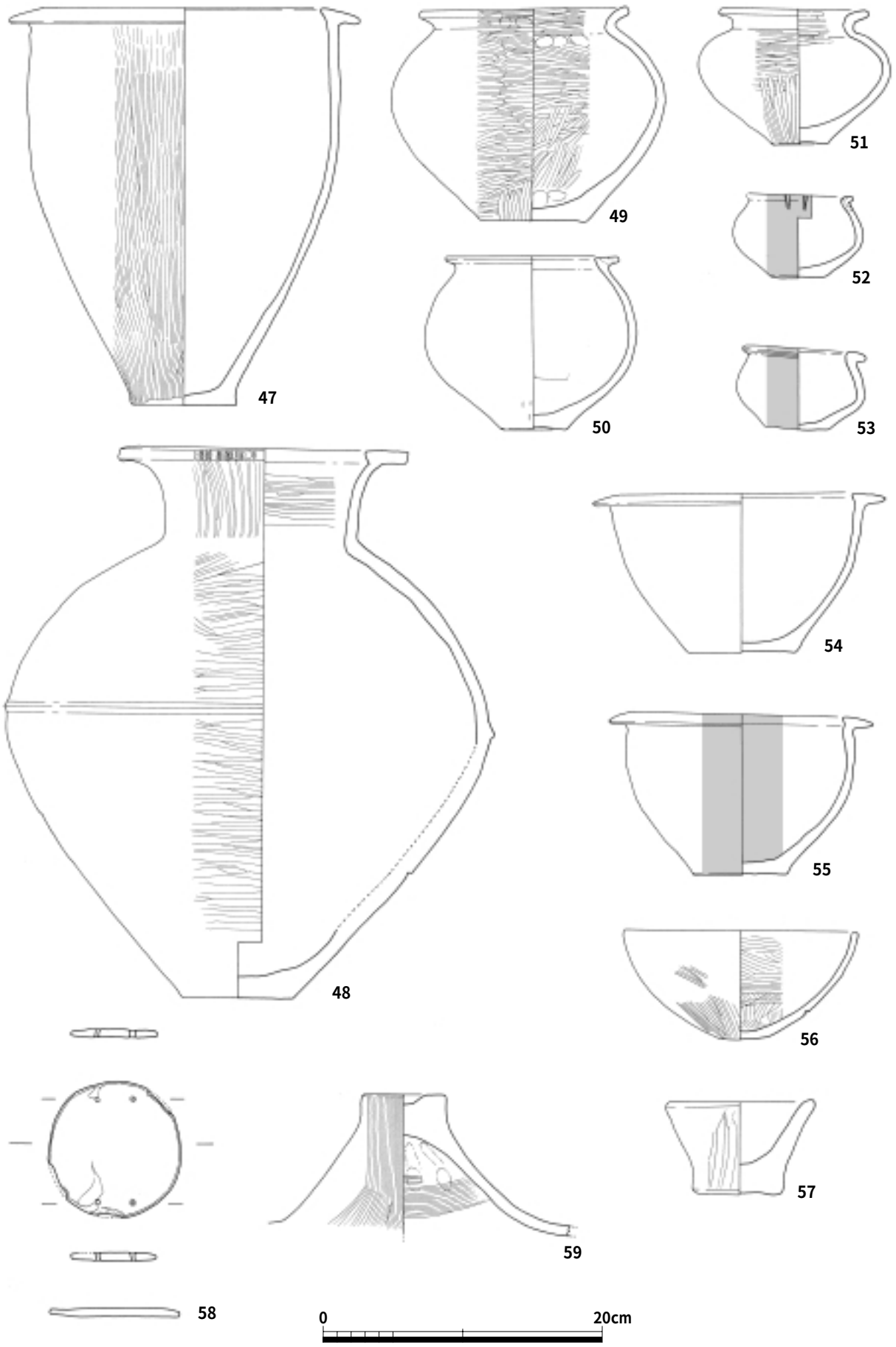


図6　原調事5集　土器（1/4）

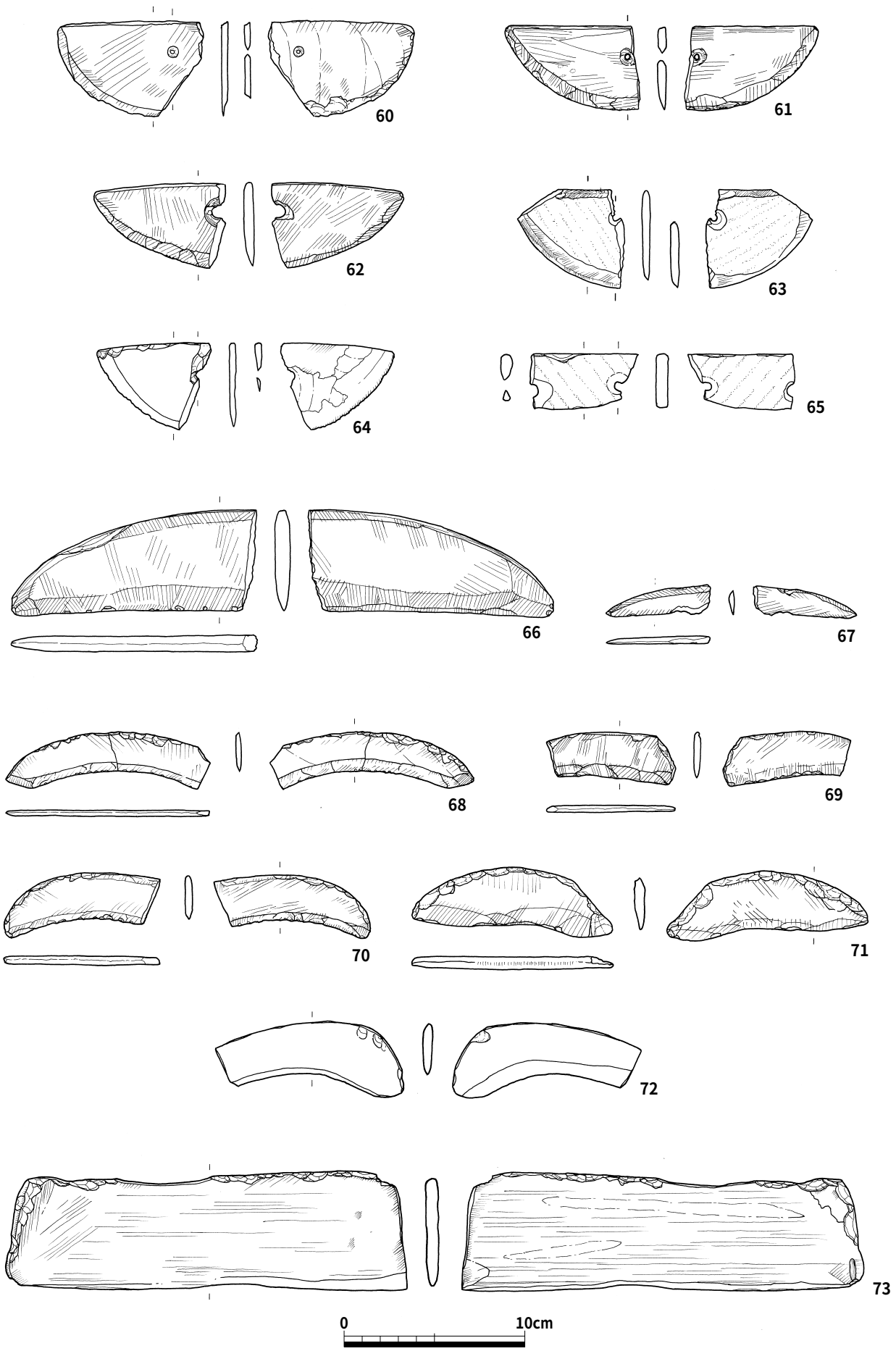


図7　原調事5集　石器①（1/3）

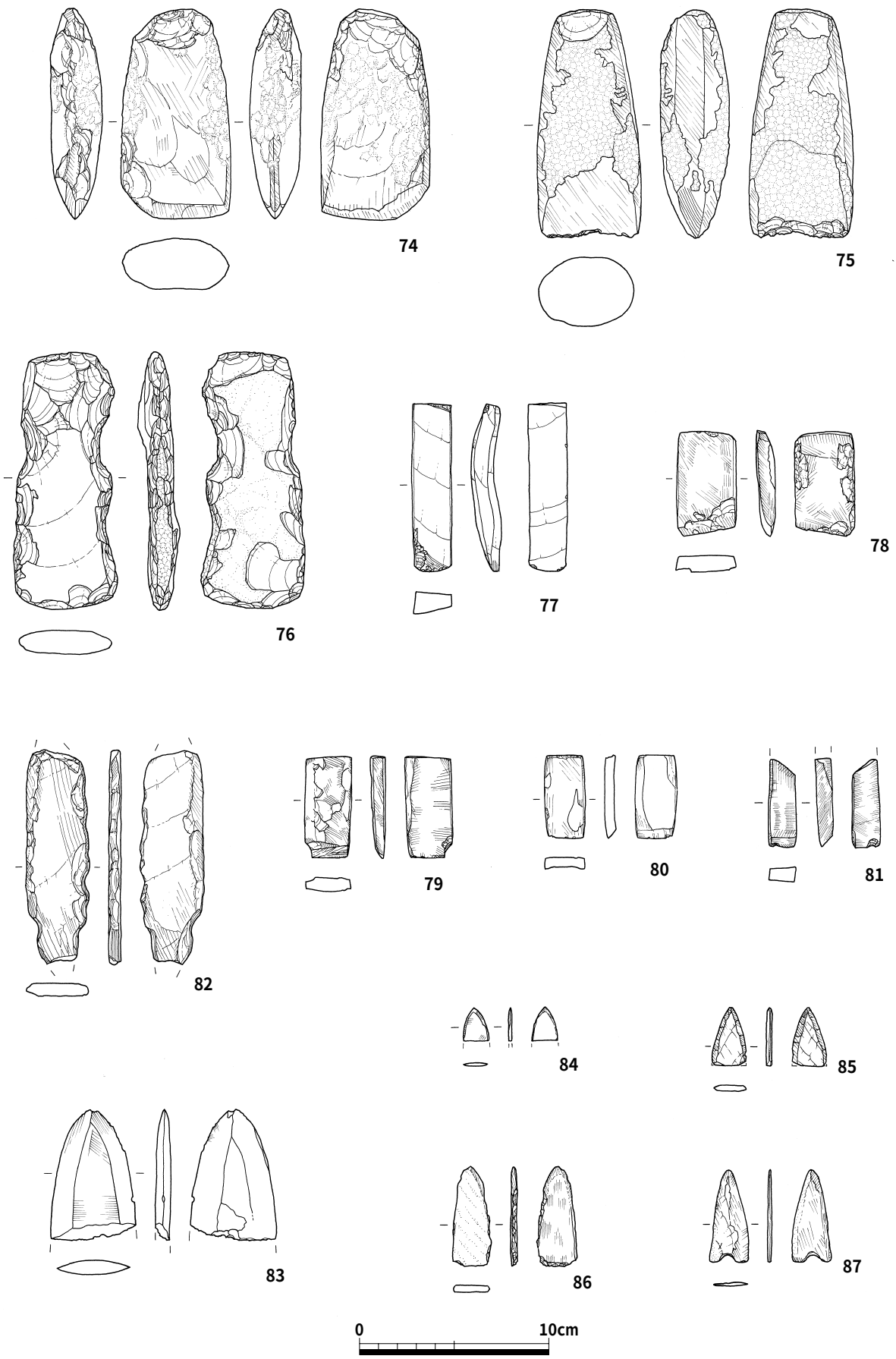


図８　原調事５集　石器②（1/3）

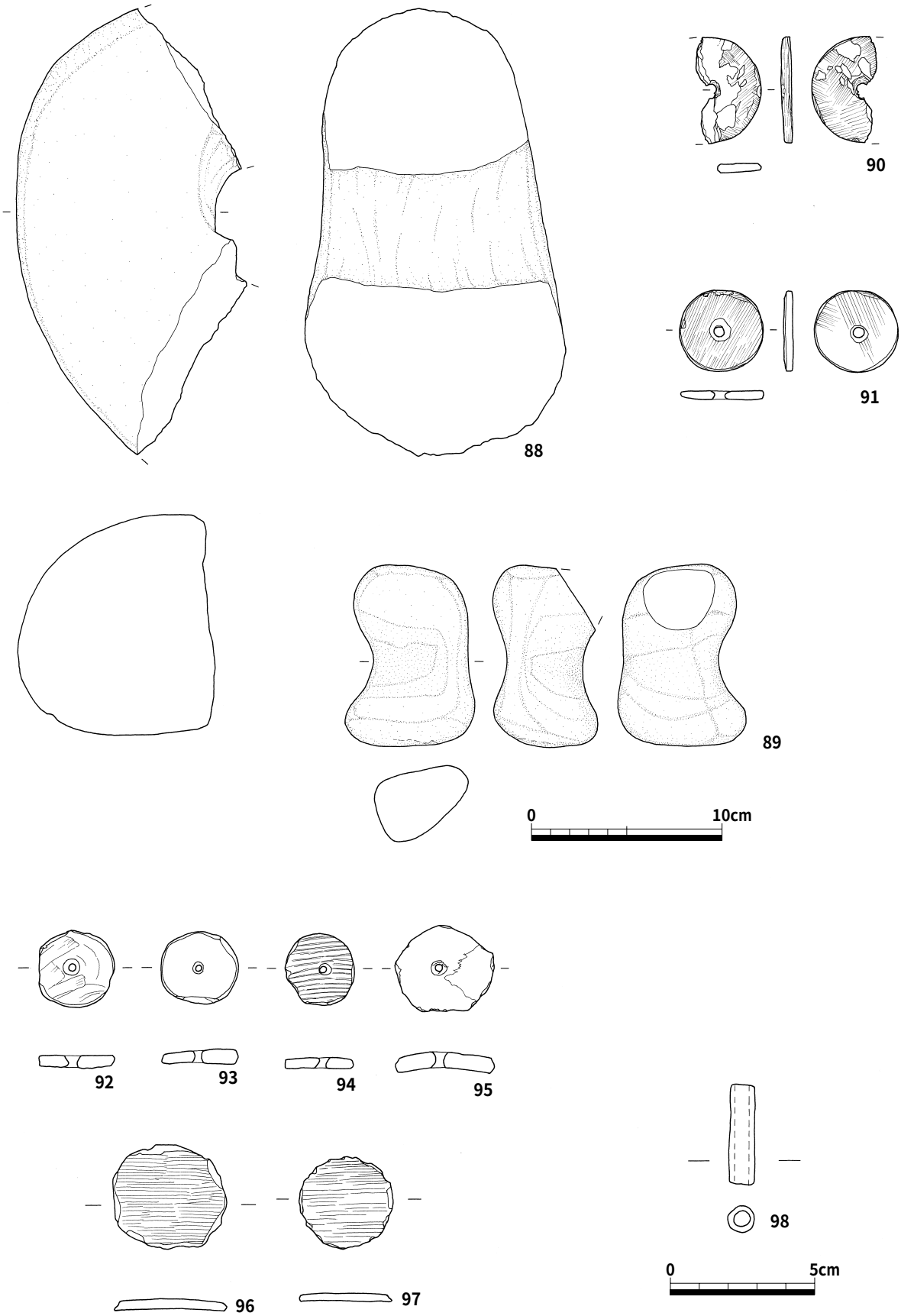


図９　原調事５集　石器③（1/3）土製品（1/3）ガラス製品（1/2）

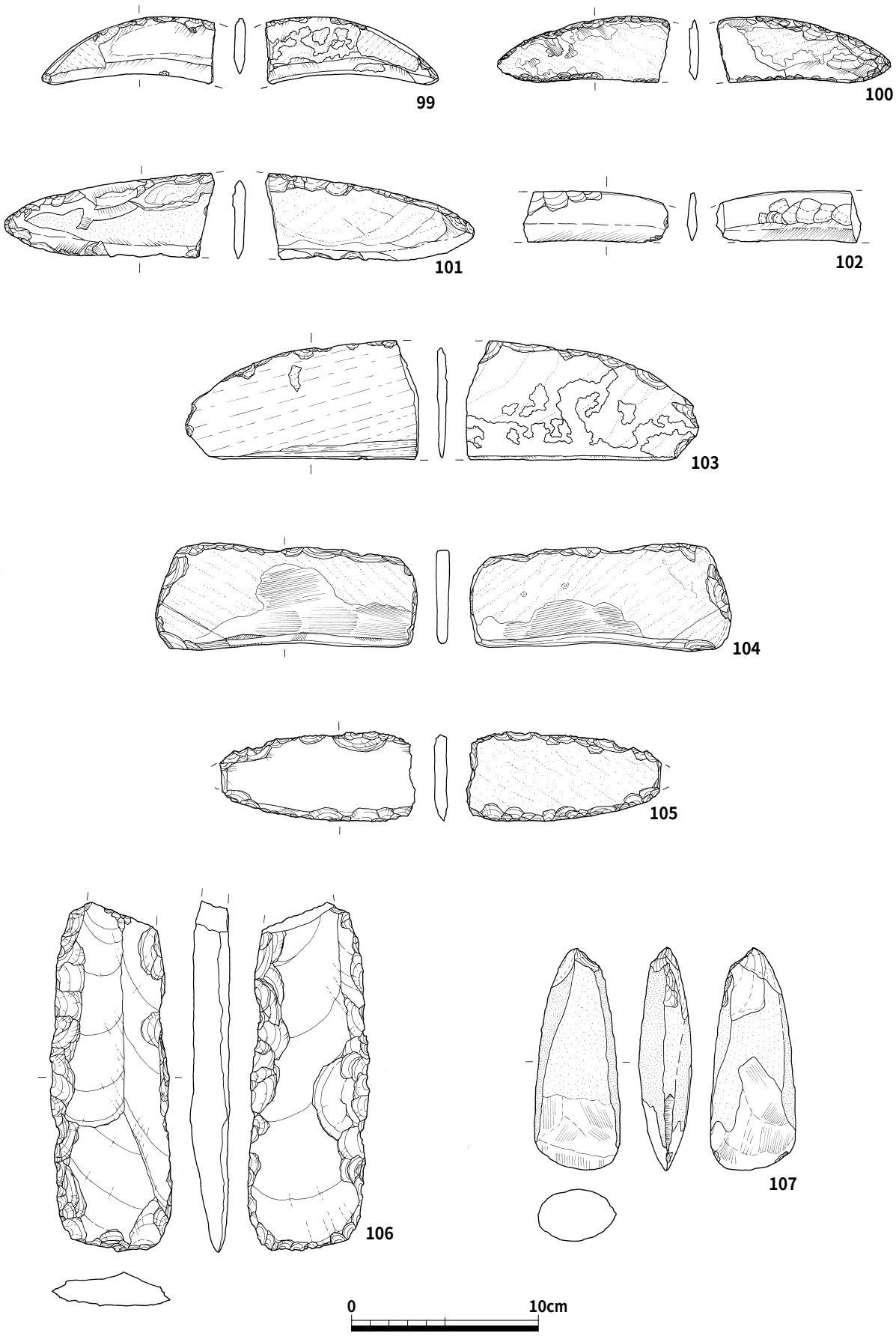


図10　原調事９集　石器①（1/3）

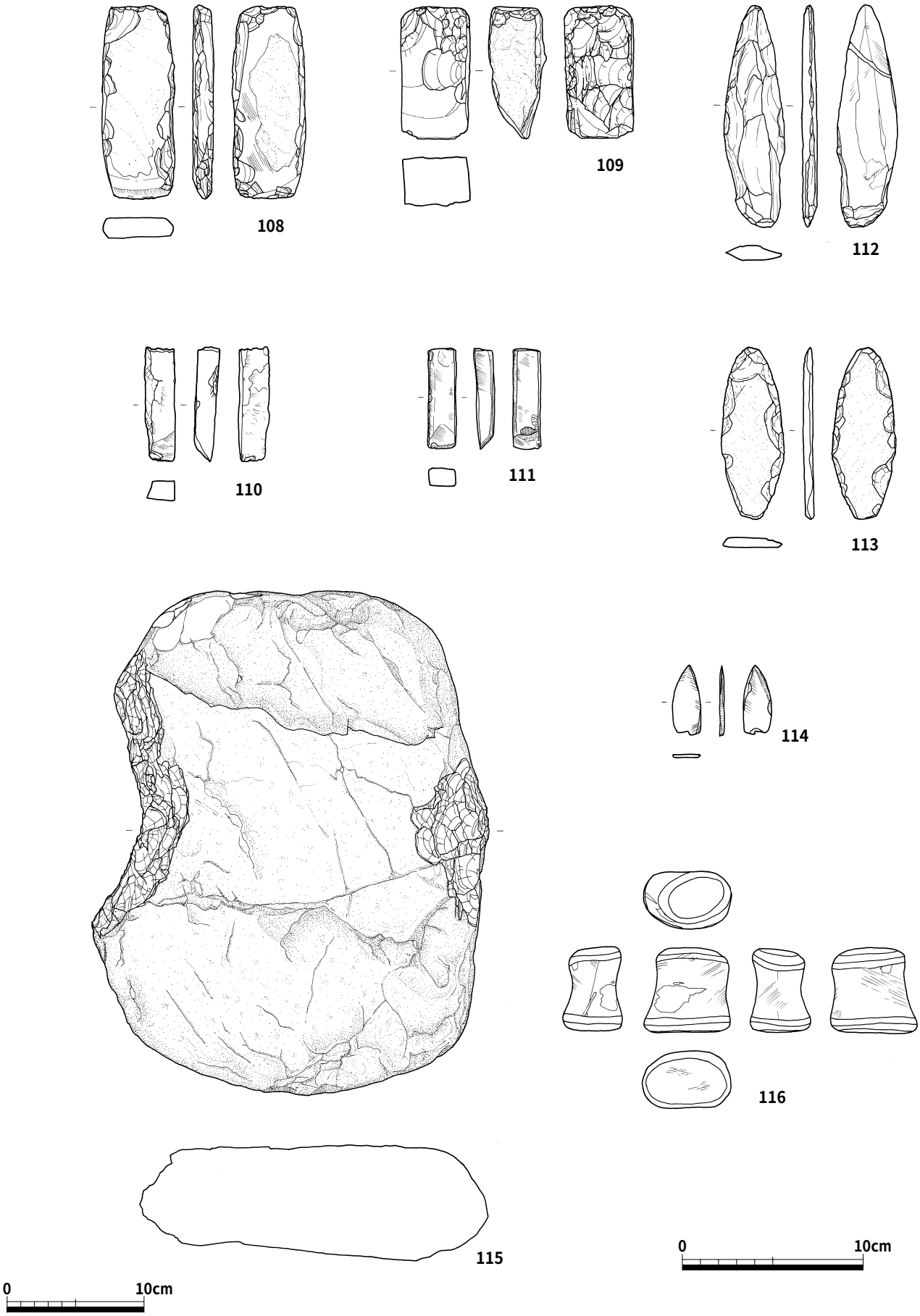


図11　原調事９集　石器②（1/3　115：1/4）

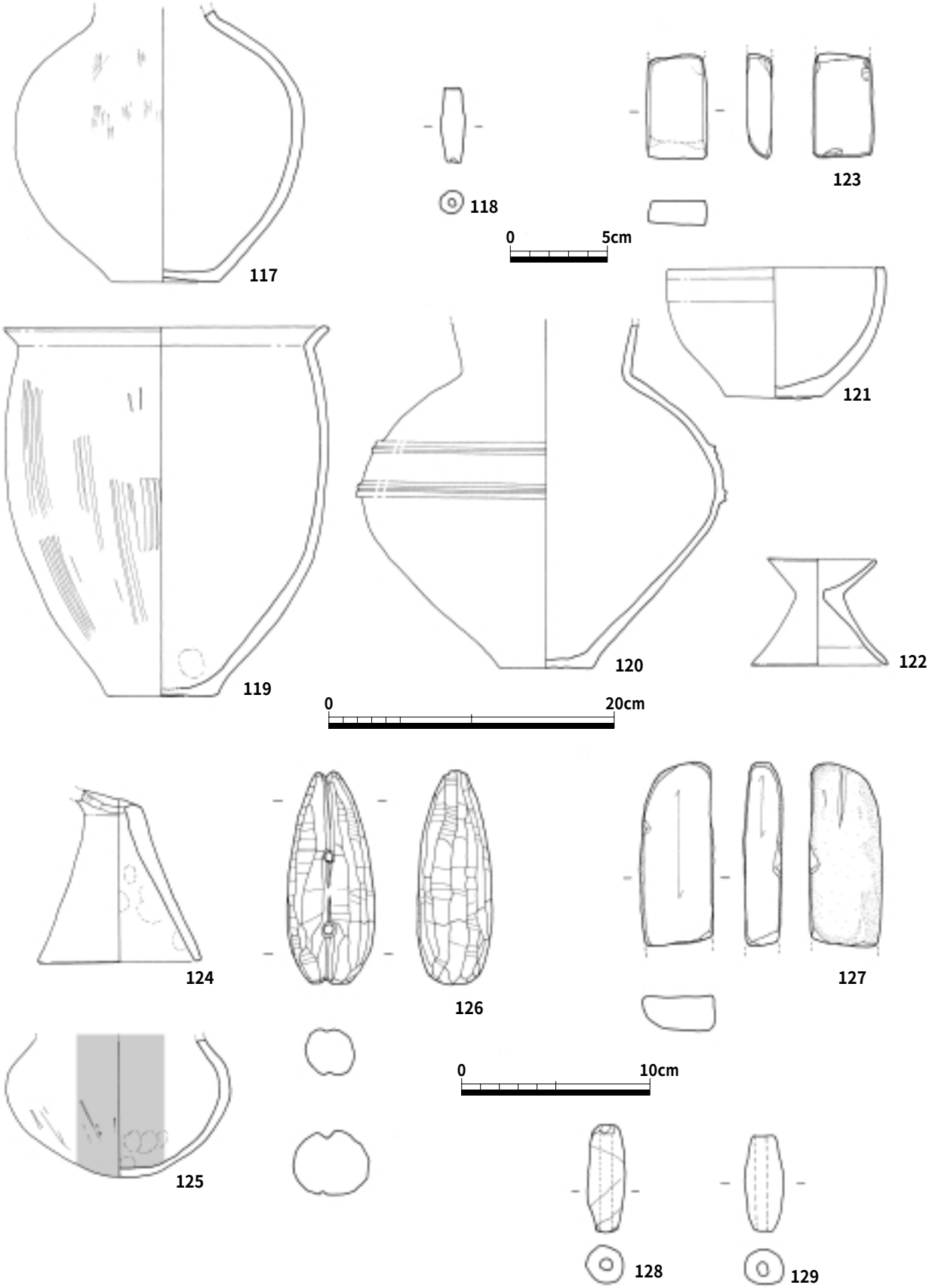


図12　原調事１，４，11集（土器１/４　石器・土製品１/３）

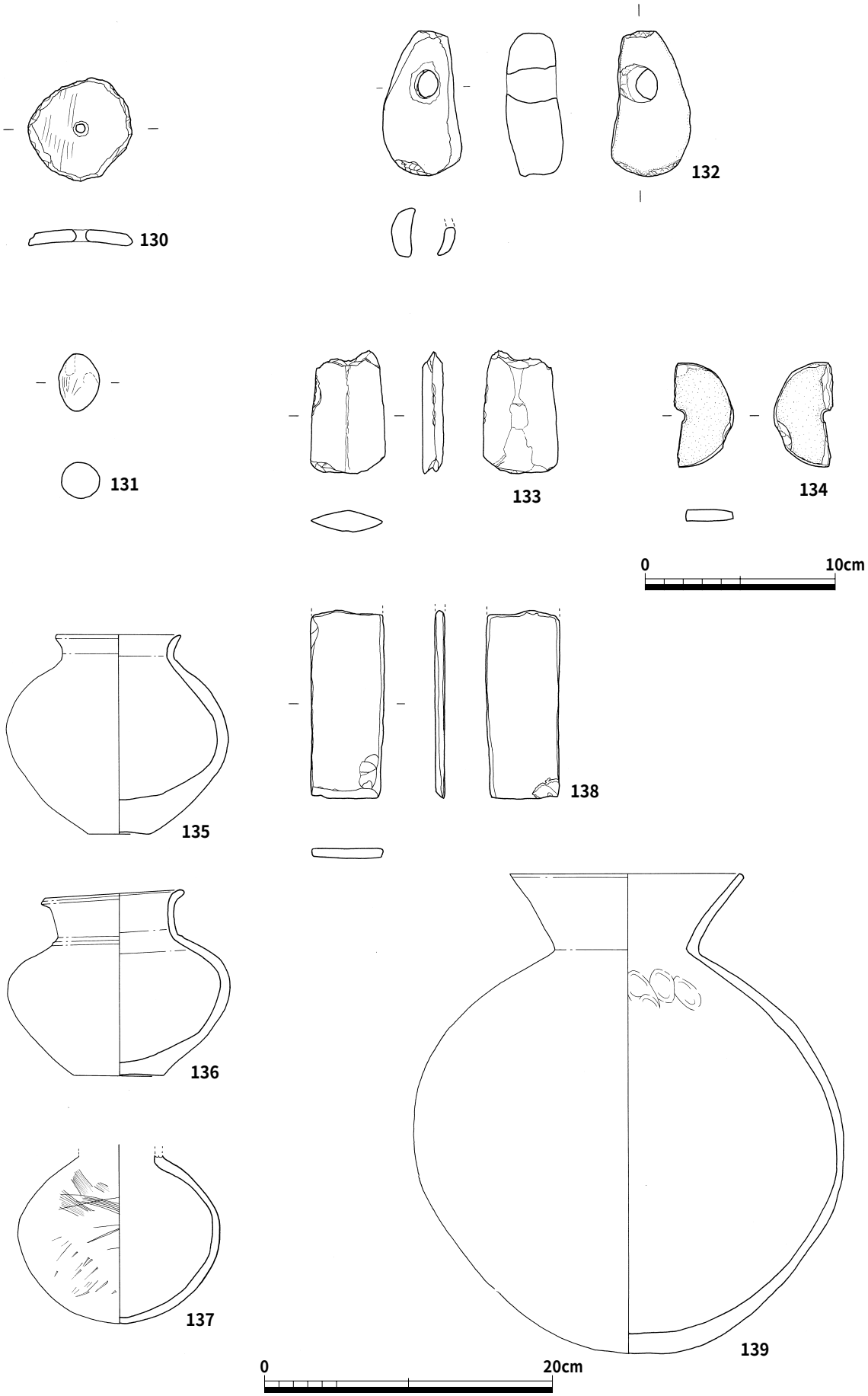


図13　原調事15，16，18集（土器1／4　石器・土製品1／3）

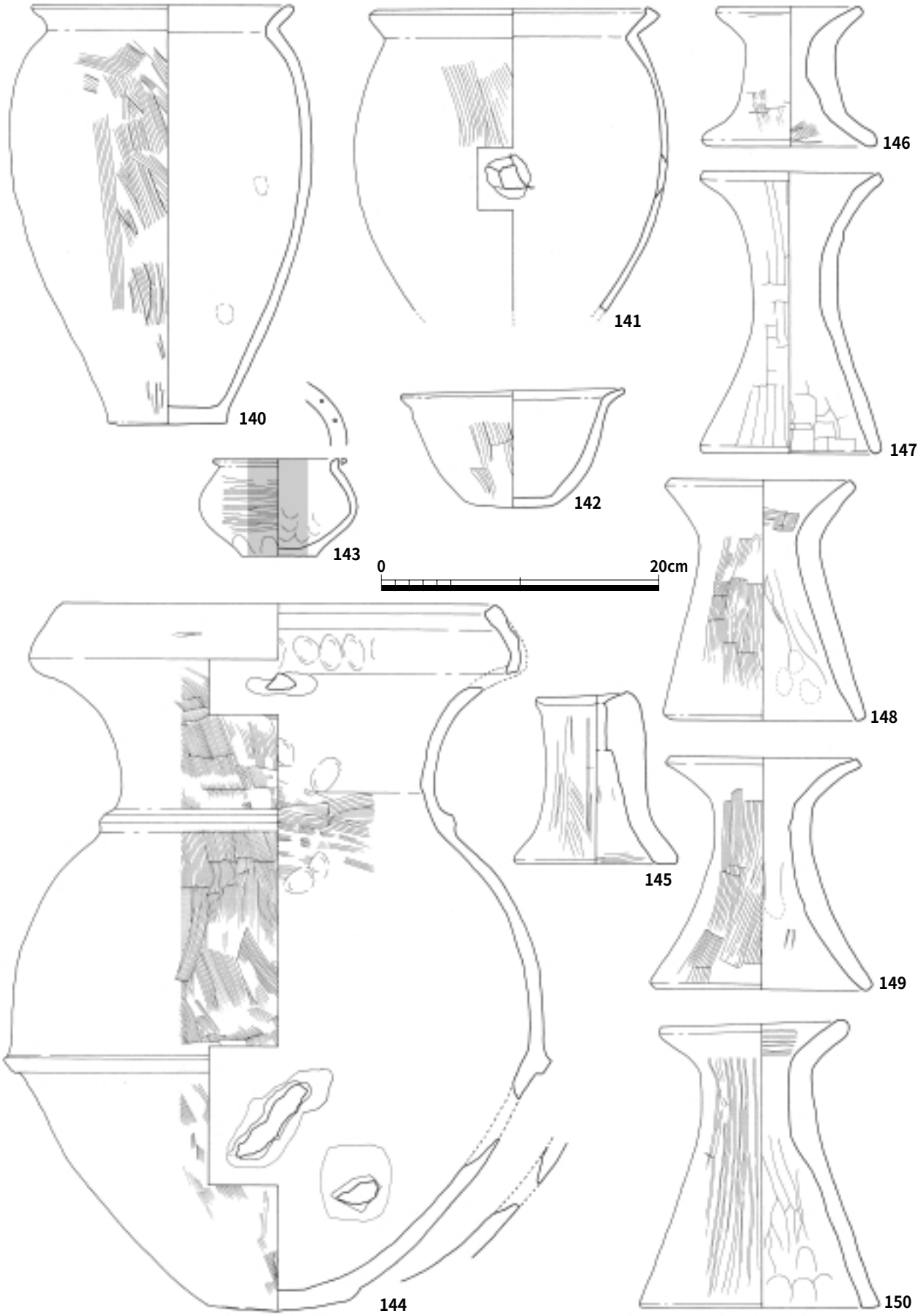


図14　原調事19集　土器（1/4）

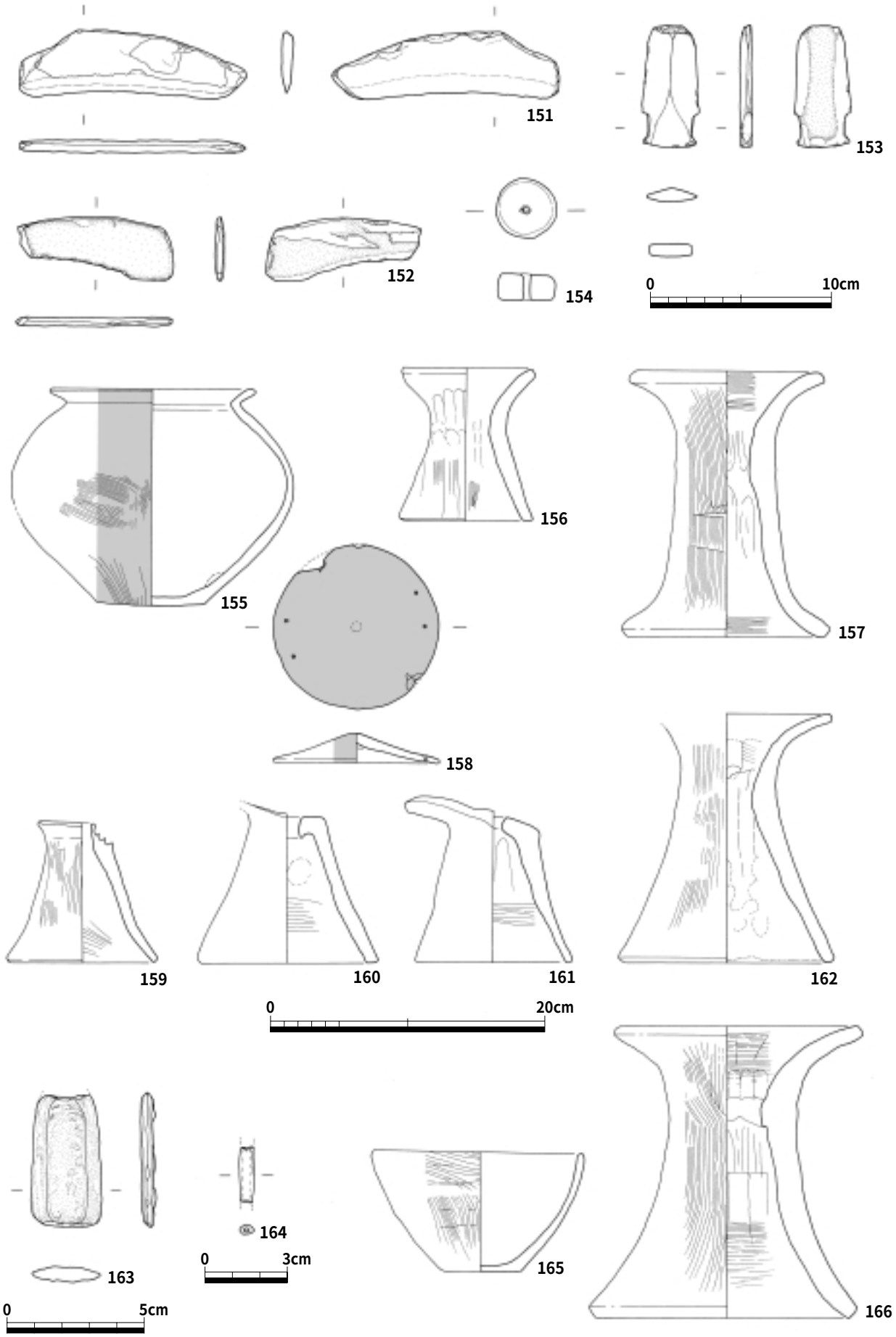


図15　原調事19，21，24，25，26集（土器1/4　石器1/3　管玉1/2）

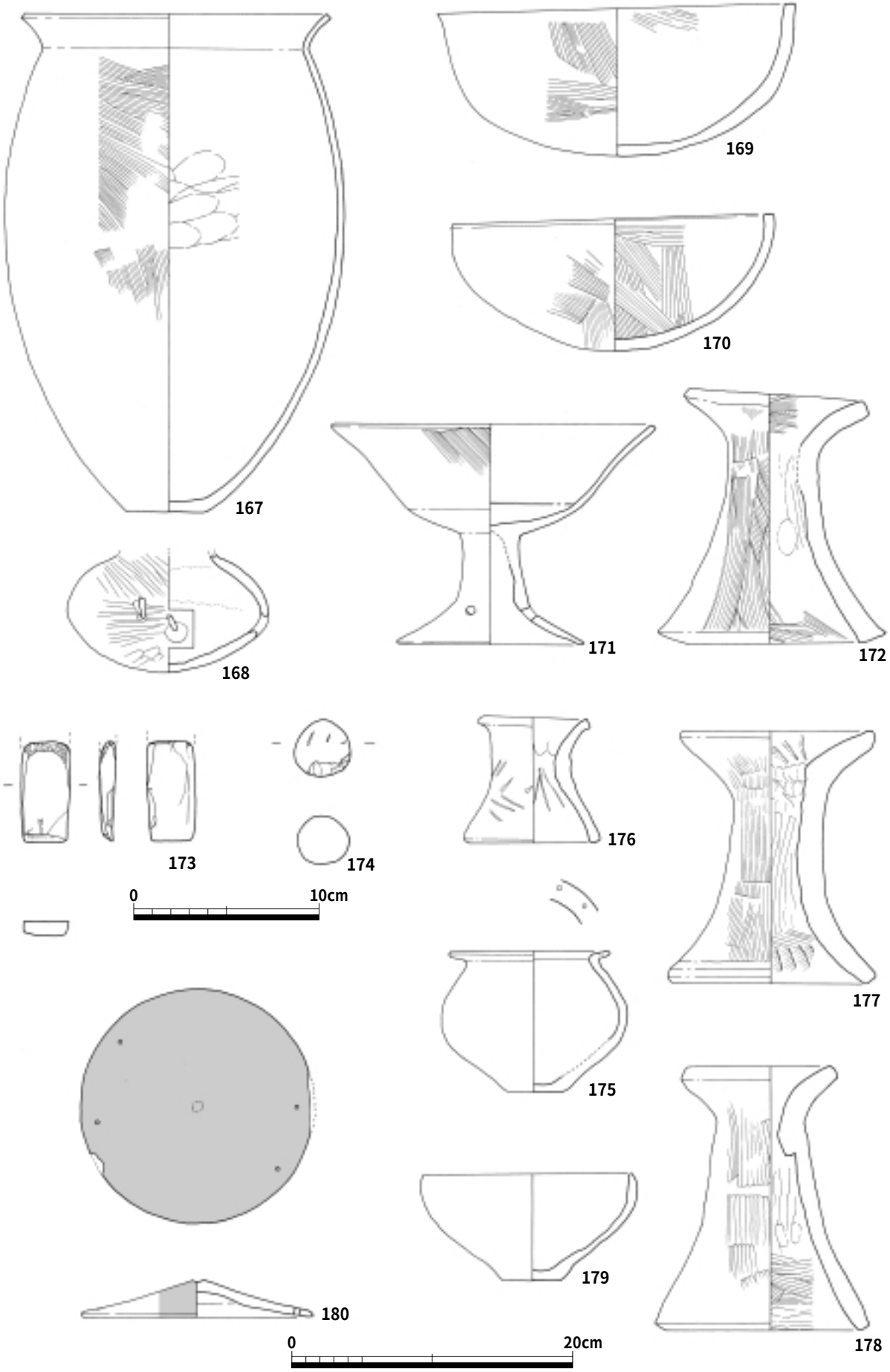


図16　原調事27，28，29，31，33，35集（土器１／４　石器・土製品１／３）

表１　遺物観察表（弥生土器・石器・装身具）

報告番号	器材	器種	帰属調査	調査年度	調査地区･調査区	層位･遺構	(現存)長(cm)	(最大)幅(cm)	厚(cm)	依存(%)
1	土器	甕	県124	H05	高元地区Ｔ９区		32.1	29.0	－	55
2	土器	甕	県124	H05	高原地区Ｔ10区		34.5	25.7	－	99
3	土器	甕	県124	H05	高元地区Ｓ７区	２号溝	25.0	18.7	－	75
4	土器	甕	県124	H05	高元地区Ｔ８区		26.6	21.2	－	70
5	土器	甕	県124	H05	高元地区Ｑ５区	５号溝	(31.3)	26.5	－	40
6	土器	甕	県124	H05	高原地区Ｔ11区		14.7	12.1	－	80
7	土器	壺	県124	H05	高原地区Ｔ18区		36.8	24.6	－	100
8	土器	壺	県124	H05	高原地区Ｔ17区		22.4	16.3	－	100
9	土器	壺	県124	H05	高元地区Ｔ18区	７号溝	(27.9)	20.5	－	90
10	土器	壺	県124	H05	高元地区Ｓ７区		(17.0)	16.7	－	60
11	土器	壺	県124	H05	高元地区Ｕ13区		15.2	22.4	－	75
12	土器	小型土器	県124	H05	高原地区Ｓ８区		7.7	8.4	－	80
13	土器	台付壺	県124	H05	高元地区Ｔ７区		20.0	19.1	－	50
14	土器	脚付鉢	県124	H05	高原地区Ｔ11区		17.2	13.9	－	80
15	土器	台付壺	県124	H05	高元地区Ｔ11区		13.8	(15.8)	－	40
16	土器	台付壺	県124	H05	高元地区Ｓ７区	２号溝	(12.2)	(15.1)	－	65
17	土器	鉢	県124	H05	高元地区Ｔ18区		10.2	17.8	－	85
18	土器	鉢	県124	H05	高原地区Ｓ19区		5.4	(13.6)	－	90
19	土器	小型土器	県124	H05	高元地区Ｒ５区	５号溝	5.6	8.7	－	85
20	土器	高坏	県124	H05	高元地区Ｔ11区	１号溝	21.5	27.5	－	85
21	土器	高坏	県124	H05	高元地区Ｑ５区	Ⅵ層	15.4	22.8	－	80
22	土器	支脚	県124	H05	高元地区Ｔ11区	１号溝	10.45	11.1	－	85
23	土器	支脚	県124	H05	高原地区		10	11.8	－	80
24	土器	器台	県124	H05	高元地区Ｔ10区	４号溝	19.2	13.6	－	80
25	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ18区		16.8	14.2	－	100
26	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ10区		17.8	16.6	－	100
27	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｓ７区		(17.0)	12.4	－	90
28	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ11区		20.4	(15.9)	－	70
29	土器	器台	県124	H05	高元地区Ｑ５区		16.4	15.7	－	90
30	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ18区		11.0	12.4	－	90
31	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ18区		11.5	10.9	－	98
32	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｑ５区		12.5	12.4	－	95
33	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｒ５区		9.3	(10.3)	－	75
34	土器	器台	県124	H05	高原地区Ｔ11区		9.0	10.7	－	98
35	石器	石鎌	県124	H05	高原地区Ｑ５区	５号溝	(13.15)	5.2	1.4	70
36	石器	石鎌	県124	H05	高原地区Ｓ７区		(5.3)	3.9	0.35	40
37	石器	石鎌	県124	H05	高原地区Ｔ７区		(8.1)	4.7	0.45	50
38	石器	石鎌	県124	H05	高原地区Ｓ８区		(9.3)	4.5	0.5	70
39	石器	石包丁	県124	H05	高原地区Ｔ９区		(4.7)	3.4	0.7	45
40	石器	石剣	県124	H05	高原地区Ｔ17区		(5.3)	4.4	1.5	30
41	石器	石斧 蛤刃	県124	H05	高原地区Ｑ５区		13.5	6.3	4	90
42	石器	石錘	県124	H05	高原地区Ｔ18区	７号溝	7.2	4.7	3.3	100
43	石器	石錘	県124	H05	高原地区	１号溝	12.6	6.2	3.9	100
44	石器	石錘	県124	H05	高原地区Ｑ５区		10.1	7.5	4.8	100
45	石器	紡錘車	県124	H05	高原地区Ｔ９区		5.5	5.6	0.8	100

報告番号	器材	器種	帰属調査	調査年度	調査地区・調査区	層位・遺構	(現存)長(cm)	(最大)幅(cm)	厚(cm)	依存(%)
46	石器	クド石	県124	H05	高原地区Ｔ９区		19.9	14.7	13.9	100
47	土器	甕	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区		28.9	25.1	－	50
48	土器	壺	原調事05	H09	不條地区	SR02	39.5	35.2	－	90
49	土器	短頸壺	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	15.4	19.5	－	60
50	土器	短頸壺	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	12.4	15.1	－	60
51	土器	短頸壺	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	9.8	13.6	－	90
52	土器	短頸壺	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	6.1	8.3	－	98
53	土器	短頸壺	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	6.1	9.1	－	99
54	土器	鉢	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区	SR８	11.5	20.9	－	95
55	土器	鉢	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	11.7	18.8	－	99
56	土器	鉢	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ３区		7.8	16.8	－	75
57	土器	鉢	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区		3.3	5.4	－	90
58	土器	蓋	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	9.8	9.6	－	98
59	土器	蓋	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区		(20.4)	10.8	－	80
60	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区		5.2	(8.0)	0.3	45
61	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区		4.6	(7.3)	0.5	45
62	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	4.6	(7.2)	0.6	45
63	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｂ２区	SR９	5.4	(5.8)	0.5	40
64	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	6.2	(4.7)	0.4	40
65	石器	石包丁	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	5.9	(3.0)	0.65	30
66	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区		5.8	(13.4)	0.9	55
67	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	1.7	(5.7)	0.3	50
68	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	3.2	(11.1)	0.3	90
69	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	Ⅸ層	2.9	(7.0)	0.4	80
70	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	3.5	(8.5)	0.5	90
71	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	3.8	(11)	0.7	90
72	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR７	4.1	(10.4)	0.5	80
73	石器	石鎌	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	6.5	(21.9)	0.7	80
74	石器	石斧 蛤刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ３区		10.9	5.7	2.7	95
75	石器	石斧 蛤刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	11.85	5.4	3.6	95
76	石器	石斧 打製	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	13.3	5.5	2.2	100
77	石器	石斧 扁平片刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	8.7	2.0	1.1	100
78	石器	石斧 扁平片刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	Ⅸ層	5.5	3.1	1	100
79	石器	石斧 扁平片刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	Ⅸ層	5.3	2.5	0.8	95
80	石器	石斧 扁平片刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	Ⅸ層	4.3	2.2	0.7	100
81	石器	石斧 扁平片刃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	Ⅸ層	4.6	1.5	0.9	80
82	石器	石剣	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	11.2	3.3	0.7	80
83	石器	石剣	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	6.8	4.45	0.8	40
84	石器	石鏃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｂ２区	SR９	1.7	1.3	0.2	40
85	石器	石鏃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｂ２区	SR９	3.1	1.8	0.3	50
86	石器	石鏃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR８	5.2	2.05	0.4	60
87	石器	石鏃	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	4.8	2.0	0.2	80
88	石器	石碇	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９				40
89	石器	石錘	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｄ２区	SR９	9.4	6.7	5.4	90
90	石器	紡錘車	原調事05	Ｈ７～Ｈ８	不條地区Ｃ２区	SR９	5.5	(3.4)	0.6	50

報告番号	器材	器種	帰属調査	調査年度	調査地区・調査区	層位・遺構	(現存)長(cm)	(最大)幅(cm)	厚(cm)	依存(%)
91	石器	紡錘車	原調事05	H７～H８	不條地区Ｃ２区	SR９	4.1	4.35	0.6	100
92	土器	紡錘車	原調事05	H７～H８	不條地区Ｄ２区	SR９	3.9	4.0	0.7	100
93	土器	紡錘車	原調事05	H７～H８	不條地区Ｃ２区	SR９	4.0	3.8	0.8	100
94	土器	紡錘車	原調事05	H７～H８	不條地区Ｄ２区	SR８	3.6	3.7	0.6	100
95	土器	紡錘車	原調事05	H７～H８	不條地区Ｄ２区		5.2	4.4	1	100
96	土器	円盤状土製品	原調事05	H７～H８	不條地区Ｄ２区		5.9	5.5	0.6	100
97	土器	円盤状土製品	原調事05	H７～H８	不條地区	SR９	4.9	4.3	0.4	100
98	ガラス	管玉	原調事05	H７～H８	不條地区Ｃ２区		3.5	0.9		100
99	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		3.6	(9.15)	0.6	60
100	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｃ８区	Ⅲ層	3.5	(9.2)	0.5	60
101	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｃ～Ｄ５区	Ⅲ層	4.5	(11.1)	0.7	60
102	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ８区		2.2	(7.7)	0.5	60
103	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		6.3	(12.3)	0.5	55
104	石器	石鎌	原調事09	H７～H８	不條地区Ｃ８区	近世川底	5.7	13.9	0.7	70
105	石器	石鎌	原調事09	H06	川原畑地区Ｐ100区	Ⅵ層	4.7	(10.3)	0.7	55
106	石器	石斧 打製	原調事09	H06	川原畑地区Ｐ100区	Ⅴ層	18.4	6.4	2.1	90
107	石器	石斧 蛤刃	原調事09	H７～H８	不條地区Ｃ８区	近世川底	11.6	4.5	2.8	100
108	石器	石斧 扁平片刃	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		10.5	4.0	1.2	100
109	石器	石斧 柱状片刃	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		7.2	3.8	3.2	50
110	石器	石斧 扁平片刃	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		6.2	1.7	1.1	100
111	石器	石斧 扁平片刃	原調事09	H06	川原畑地区Ｐ100区	Ⅴ層	5.5	1.5	1.1	100
112	石器	石剣	原調事09	H06	川原畑地区Ｐ100区	Ⅵ層	12.0	3.3	0.9	80
113	石器	石槍	原調事09	H06	川原畑地区Ｐ100区	Ⅶ層	9.3	3.45	0.6	90
114	石器	石鏃	原調事09	H７～H８	不條地区Ｃ～Ｄ４区	溝	3.8	1.55	0.25	60
115	石器	石錘	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ11区		29.2	36.8	8.4	100
116	石器	石錘	原調事09	H７～H８	不條地区Ｂ８区		4.6	4.85	3.35	100
117	土器	壺	原調事01	H05	高元地区Ｔ10区		(14.0)	22	－	90
118	土器	土錘	原調事01	H06	川原畑地区Ａ区	Ⅲ層	1.3	4.0	－	100
119	土器	甕	原調事04	H08	八反Ｄ２区	SD２	25.9	22.8	－	65
120	土器	壺	原調事04	H08	不條地区Ｃ４区		(24.0)	25.9	－	70
121	土器	鉢	原調事04	H08	八反Ａ３区		9.2	15.3	－	100
122	土器	器台	原調事04	H08	八反Ｄ１区	Ⅲ層	7.5	9.6	－	70
123	石器	石斧 扁平片刃	原調事04	H08	八反Ｂ１区	落込（３層）	5.5	3.2	1.3	60
124	土器	支脚	原調事11	H08	原地区Ａ区		(12.2)	11.5	－	90
125	土器	壺	原調事11	H08	原地区Ｇ区		(9.8)	15.6	－	70
126	石器	石錘	原調事11	H７～H８	原地区Ｂ区	Ⅰ層	11.2	4.6	4	100
127	石器	砥石	原調事11	H08	原地区Ａ区	Ⅲ層	9.55	3.9	2	100
128	土器	土錘	原調事11	H08	原地区Ａ区	Ⅱ層	5.7	2.0	2	90
129	土器	土錘	原調事11	H08	原地区Ａ区	Ⅰ層	5.0	2.1	2.1	80
130	土器	紡錘車	原調事15	H10	八反Ｖ区	SK１	5.4	5.4	0.85	100
131	土器	投弾	原調事15	H10	八反Ｖ区	SK１	3.05	2.05	1.9	99
132	石器	石錘	原調事15	H10	不條地区Ⅱ区	SD５	7.5	4.1	3	100
133	石器	石剣	原調事15	H10	八丹Ⅶ区	４ｂ層	(6.4)	3.9	1.1	40
134	石器	紡錘車	原調事15	H10	八反地区Ⅶ区	４ｂ層	5.45	3.1	0.65	50
135	土器	壺	原調事16	H10	Ｅ区	落込５	13.8	15.2	－	97

報告番号	器材	器種	帰属調査	調査年度	調査地区・調査区	層位・遺構	(現存)長(cm)	(最大)幅(cm)	厚(cm)	依存(%)
136	土器	壺	原調事16	H10	E区	落込5	12.9	15.4	－	77
137	土器	壺	原調事16	H10	B区	SD1(3層)	(11.6)	14.0	－	80
138	石器	石斧 扁平片刃	原調事16	H10	C区		9.8	3.85	0.5	90
139	土器	壺	原調事18	H10	高元2区		33.2	30.0	－	65
140	土器	甕	原調事19	H11	八反地区E区	SX1	30.0	21.7	－	80
141	土器	甕	原調事19	H11	不條地区A区	SD1(2層)	(22.0)	22.4	－	45
142	土器	碗	原調事19	H11	八反地区E区	SX1(2層)	8.6	16.0	－	80
143	土器	壺	原調事19	H11	八反地区E区	SG2	7.0	11.4	－	100
144	土器	壺	原調事19	H11	八反地区E区	SX1	51.0	39.4	－	60
145	土器	支脚	原調事19	H11	八反地区E区	落込3(2層)	12.3	11.9	－	85
146	土器	器台	原調事19	H11	八反地区E区	落込3(2層)	10.1	12.5	－	80
147	土器	器台	原調事19	H11	八反地区E区	SX1	20.35	13.1	－	95
148	土器	器台	原調事19	H11	八反地区E区	落込6	17.3	14.4	－	85
149	土器	器台	原調事19	H11	八反地区E区	落込6	16.3	16.0	－	75
150	土器	器台	原調事19	H11	八反地区E区	落込3(3層)	10.75	17.2	－	90
151	石器	石鎌	原調事19	H11	不條地区B区	Ⅱ層	3.75	12.4	0.7	80
152	石器	石鎌	原調事19	H11	八反地区E区	SX1(2層)	3.45	(8.55)	0.5	90
153	石器	石剣	原調事19	H11	不條地区A区	SD1	(6.65)	3.15	0.75	80
154	土器	紡錘車	原調事19	H11	不條地区A区	SD1(1層)	3.3	3.3	1.5	100
155	土器	壺	原調事21	H12	不條地区D区	Ⅳ層	15.7	20.4	－	70
156	土器	器台	原調事21	H12	不條地区D区		11.1	8.8	－	99
157	土器	器台	原調事21	H12	八反地区F区	SX1(1層)	17.9	(15.2)	－	60
158	土器	蓋	原調事21	H12	不條地区B区	Ⅳ層	12.0	12.0	－	98
159	土器	支脚	原調事24	H13	八反地区	SD3(1層)	10.3	10.9	－	90
160	土器	支脚	原調事24	H13	八反地区	SD1(4層)	(11.7)	13.1	－	95
161	土器	支脚	原調事24	H13	八反地区	SD3	12.1	12.3	－	90
162	土器	器台	原調事24	H13	八反地区	SD3(1層)	18.2	15.6	－	85
163	石器	石剣	原調事25	H13	26区	3層	(7.2)	3.8	－	55
164	ガラス	管玉	原調事25	H13	27区	2層	2.05	0.55	3.5	100
165	土器	碗	原調事26	H14	八反地区	Ⅴ層	8.8	15.5	－	65
166	土器	器台	原調事26	H14	石田高原地区	Ⅴ層	22.4	19.8	－	70
167	土器	甕	原調事27	H14	八反地区	SD2(1層)	35.3	24.3	－	60
168	土器	壺	原調事27	H14	八反地区	SD2(1層)	(8.4)	14.3	－	80
169	土器	鉢	原調事27	H14	八反地区	SD2(1層)	10.8	25.6	－	90
170	土器	鉢	原調事27	H14	八反地区	SD2(1層)	9.7	23.0	－	99
171	土器	高坏	原調事27	H14	八反地区	SD2(1層)	15.7	23.2	－	80
172	土器	器台	原調事27	H14	八反地区	SD3(1層)	18.3	16.2	－	93
173	石器	石斧 扁平片刃	原調事27	H14	八反地区	SD7(2層)	(5.45)	2.7	－	60
174	土器	投弾	原調事28	H15	高元地区ⅡA区	Ⅲ層	3.0	3.05	2.55	95
175	土器	壺	原調事29	H15	八反地区(17区)	北側トレンチ2	10.1	12.6	－	99
176	土器	器台	原調事29	H15	八反地区	SD6	9.1	9.7	－	88
177	土器	器台	原調事29	H15	八反地区	SD8(6層)	18.0	15.3	－	99
178	土器	器台	原調事31	H16	石田高原地区	3層	18.9	(15.3)	－	80
179	土器	碗	原調事33	H17	不條地区H区	SR01(3層)	7.7	15.6	－	95
180	土器	蓋	原調事35	S49	大原地区	溝	16.6	16.6	－	98

写真６　土器①

写真７　土器②

写真８　土器③

写真９　土器④

93

94

95

96

97

117

118

119

120

121

122

124

写真10　土器⑤

125

128

129

130

131

135

136

137

139

140

141

142

写真11　土器⑥

143

144

145

146

147

148

149

150

154

155

156

157

写真12　土器⑦

158

159

160

161

162

165

166

167

168

169

170

171

写真13　土器⑧

写真14　土器⑨

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

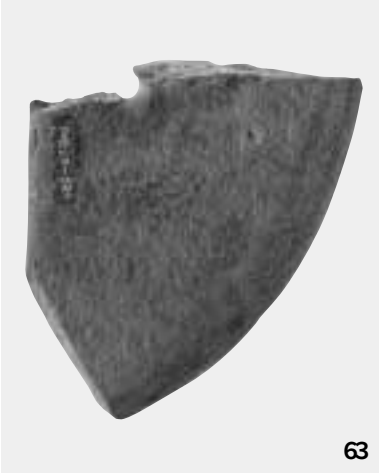
46

写真15　石器①

60

61

62


63

64

65

66

67

68

69

70

71

写真16　石器②

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

写真17　石器③

84

85

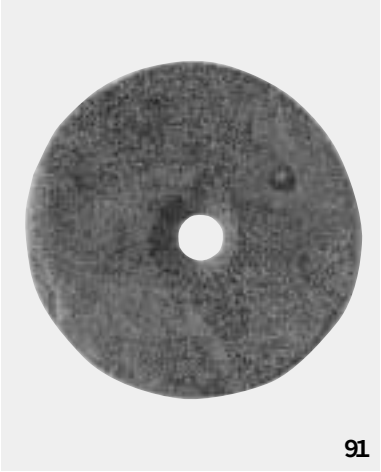
86

87

88

89

90


91

99

100

101

102

写真18　石器④

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

写真19　石器⑤

115

116

123

126

127

132

133

134

138

151

152

153

写真20　石器⑥

写真21　石器⑦・装身具

Ⅲ章　外来系土器

概要

本章では原の辻遺跡調査事務所調査報告第１集から同第22集までに取り扱われた調査地区における未報告外来系土器について対象とする。

粘土帯土器

粘土帯土器には大きく円形粘土帯土器と三角形粘土帯土器がみられる。不條地区で集中して出土している様相はこれまでの出土様相（宮﨑2005、古澤2010）と大きな変化はない。201は城ノ越式～須玖Ⅰ式を主体とする不條地区Ｂ区２号土壙出土であり併行関係を窺うことができる好資料である。

楽浪系土器

楽浪系土器には滑石混入土器と泥質系瓦質土器がみられる。滑石混入土器は戦国燕の滑石混入土器との関連が想定され、楽浪郡設置以前の古朝鮮時期から楽浪郡設置後にかけて存在する（鄭仁盛2004）ため年代が問題となるが、滑石混入土器である216が出土した不條地区Ｅ-20区１号土器溜では須玖Ⅰ式新段階～弥生時代後期末の土器が出土している。なお、この１号土器溜では４点の貨泉、楽浪系車輿具、卜骨等が出土し、何らかの祭儀的空間であると想定されている（宮﨑・杉原2000）が、実用生活道具である煮沸用の滑石混入土器の出土から楽浪人の関与が推測される。型作りであるため、内面に明瞭な布目痕が残っている。泥質系瓦質土器は短頸壺や円筒形土器等がみられ、182や220等のように内面に平行当て具痕が残るのが特徴的である。

三韓系瓦質土器

三韓系瓦質土器には焼成によって軟質土器と硬質土器に分類される。器種としては短頸壺が多いのはこれまでの出土傾向（宮﨑2005、古澤2010）と変化がない。外面の調整には縄目タタキ、方格タタキ、平行タタキがみられる。

陶質土器

器種としては短頸壺が多い。268、269は内面に平行当て具痕が残る。これまで韓半島の陶質土器では内面に当て具痕が残る例はほとんど知られていないため、陶質土器ではない可能性が強いが、焼成等は陶質土器に非常に近いため本章で取り扱った。

本稿をなすにあたっては鄭仁盛教授（韓国・嶺南大学校）、李政根学芸研究士（韓国・国立光州博物館）、寺井誠学芸員（大阪歴史博物館）のご教示を賜りました。記して感謝いたします。

【文献】

古澤義久　2010「壱岐における韓半島系土器の様相」『日本出土の朝鮮半島系土器の再検討－弥生時代を中心に－』第59回埋蔵文化財研究集会

宮﨑貴夫　2005「朝鮮半島系土器について」『原の辻遺跡 総集編Ⅰ』原の辻遺跡調査事務所調査報告書第30集

宮﨑貴夫・杉原敦史　2000『原の辻遺跡』原の辻遺跡調査事務所調査報告書第19集

鄭仁盛　2004「楽浪土城의 滑石混入系土器와 그 年代」『百済研究』40

表２　遺物観察表（外来系土器）

報告番号	遺物	帰属調査	調査年度	調査地区・調査区	層位・遺構	外面の色調		内面の色調		調整		文様等特徴	長さ(残存値)cm	幅(残存値)cm	厚さ(残存値)cm
						色	Hue	色	Hue	外面	内面				
181	三角形粘土帯土器口縁	原調事01	H06	芦辺高原	4層	黄褐	2.5Y5/3	にぶい黄橙	10YR7/4	ナデ	ナデ		(4.0)	(4.6)	0.8
182	楽浪系瓦質土器	原調事01	H06	芦辺高原	4層	灰白	5Y7/1	灰白	10YR7/1	縄目タタキ	当て具痕		(6.2)	(7.7)	0.5
183	楽浪系瓦質土器	原調事01	H06	安国寺AⅢ区	3層	灰白	5Y7/1	灰	5Y6/1	ナデ	ナデ		(2.3)	(3.0)	0.5
184	三韓系瓦質土器	原調事01	H06	芦辺高原	4層	灰	5Y6/1	灰白	10YR7/1	縄目タタキ	ナデ		(4.6)	(4.6)	1.2
185	三韓系瓦質土器	原調事01	H06	芦辺高原	2層	浅黄橙	10YR8/3	灰白	2.5Y8/2	方格タタキ	ナデ		(2.9)	(2.4)	0.5
186	三韓系瓦質土器	原調事01	H06	芦辺高原	4層	灰黄	2.5Y7/2	灰白	5Y7/1	ナデ	ナデ		(4.2)	(3.1)	0.6
187	円形粘土帯土器口縁	原調事04	H08	不條C４区		橙	7.5YR7/6	橙	7.5YR6/6	ナデ	ナデ		(9.8)	(15.0)	0.8
188	擬無文土器口縁	原調事04	H08	不條C５区		橙	7.5YR6/6	橙	7.5YR6/6	ナデ	ナデ		(11.5)	(13.2)	0.8
189	円形粘土帯土器口縁	原調事09	H08	不條B11区		褐灰	10YR4/1	褐灰	10YR5/1	ハケメ→ナデ	ナデ		(5.95)	(7.65)	0.7
190	円形粘土帯土器口縁	原調事09	H08	不條C11区		灰黄	2.5Y6/2	黄灰	2.5Y5/1	ナデ	ナデ		(5.7)	(5.1)	0.9
191	擬粘土帯土器口縁	原調事09	H08	不條C７区	3層	褐灰	10YR4/1	灰黄	2.5Y6/2	ハケメ	ナデ		(4.4)	(8.1)	0.8
192	無文土器底部	原調事09	H08			褐	7.5YR4/4	にぶい黄橙	10YR6/4	ナデ	ナデ	滑石含む	(4.4)	(11.0)	1.0
193	円形粘土帯土器碗口縁	原調事09	H08	不條C７区	3層	明赤褐	5YR5/6	にぶい橙	7.5YR6/4	ナデ	ナデ		(7.6)	(5.4)	0.8
194	三角形粘土帯土器口縁	原調事09	H08	不條B８区		灰	N4/0	灰	N6/0	ナデ	ナデ	突起附	(4.2)	(5.6)	0.7
195	楕円形粘土帯土器口縁	原調事11	H08	原C区	1号溝３層	橙	7.5YR7/6	橙	5YR6/8	ナデ	ナデ		(3.0)	(3.1)	0.6
196	三角形粘土帯土器口縁	原調事11	H07	原E５区	2号溝５層	褐灰	10YR4/1	にぶい黄橙	10YR7/2	ハケメ	ハケメ		(5.4)	(5.0)	0.7
197	三韓系瓦質土器	原調事11	H08	原D区	1号溝２層	黄灰	2.5Y5/1	にぶい黄	2.5Y6/3	縄目タタキ	ナデ	軟質	(8.2)	(7.7)	0.9
198	三角形粘土帯土器口縁	原調事16	H10	不條E５区	3層落ち込み３	灰黄褐	10YR5/2	灰黄褐	10YR5/2	ナデ	ナデ		(2.2)	(8.2)	0.5
199	三角形粘土帯土器口縁	原調事16	H10	不條E５区	3層落ち込み３	にぶい橙	5YR6/3	にぶい黄橙	10YR7/2	ナデ	ナデ		(2.8)	(4.6)	0.6
200	三角形粘土帯土器口縁	原調事16	H10	不條C４区	落ち込みB	褐灰	10YR5/1	灰白	2.5Y7/1	ナデ	ナデ		(3.4)	(6.2)	0.7
201	無文土器把手	原調事16	H10	不條B区	2号土壙	明赤褐	5YR5/6	にぶい橙	5YR6/4	ナデ	ナデ		(3.2)	(5.4)	2.4
202	楽浪系瓦質土器	原調事18	H10	原６-５区	4層	灰黄	2.5Y7/2	灰白	2.5Y7/1	縄目タタキ	平行当て具,ナデ		(3.0)	(4.7)	0.8
203	楽浪系瓦質土器	原調事18	H10	原５-３区	2層	灰白	5Y7/2	灰白	5Y7/1	縄目タタキ	ナデ		(2.5)	(2.5)	0.6
204	三韓系瓦質土器	原調事18	H10	原４-１区	2層	橙	7.5YR6/6	浅黄	2.5Y7/3	縄目タタキ	ナデ		(3.2)	(2.5)	0.5
205	三韓系瓦質土器	原調事18	H10	原７-３区	8層	灰白	10YR7/1	灰白	10YR7/1	方格タタキ	ナデ		(3.2)	(3.2)	0.6
206	陶質土器	原調事18	H10	原４-１区	2層	暗灰黄	2.5Y5/2	灰	5Y5/1	縄目タタキ	ナデ		(2.6)	(2.0)	0.4
207	陶質土器	原調事18	H11	不條Ⅰ区	2号溝１層	黄灰	2.5Y5/1	灰	N5/0	平行タタキ	ナデ		(4.9)	(6.8)	0.8
208	陶質土器	原調事18	H10	原７-３区	4層	灰	5Y6/1	灰	5Y6/1	縄目タタキ	ナデ		(3.0)	(3.3)	0.7
209	楕円形粘土帯土器口縁	原調事19	H11	不條A-２区	4層	灰褐	7.5YR5/2	灰褐	7.5YR5/2	ナデ	ナデ		(2.9)	(3.2)	0.8
210	粘土帯土器口縁	原調事19	H11	不條E-20区	落ち込み３-２層	灰	N4/0	灰	5Y4/1	ナデ	ナデ		(3.5)	(3.0)	0.9
211	三角形粘土帯土器口縁	原調事19	H11	不條B区	４ｃ層	黄灰	2.5Y5/1	灰黄	2.5Y7/2	調整痕→ナデ	ナデ		(10.6)	(11.4)	1.0
212	粘土帯土器碗口縁	原調事19	H11	不條A区	1号土壙	灰黄褐	10YR5/2	にぶい褐	7.5YR6/3	ナデ	ナデ		(5.1)	(5.8)	0.7
213	無文土器底部	原調事19	H11	不條B-22区	2層	浅黄橙	10YR8/3	灰白	10YR8/2	ナデ	ナデ		(3.8)	(5.9)	1.0
214	ミニチュア土器	原調事19	H11	不條E-20区	落ち込み３-２層	灰黄	2.5Y7/2	浅黄	2.5Y7/3	ナデ	ナデ		(3.1)	(3.3)	0.65
215	三角形粘土帯土器口縁	原調事19	H11	不條D区	1号土壙	にぶい橙	7.5YR7/4	にぶい橙	7.5YR7/4	ナデ	ナデ		(2.7)	(6.2)	0.6
216	楽浪系滑石混入土器	原調事19	H11	不條E-17区	1号土器溜	灰褐	7.5YR5/2	灰	5Y4/1	ナデ	布目	滑石含む	(3.2)	(4.1)	0.7
217	楽浪系瓦質土器壺頸肩部	原調事19	H11	不條B-15区	3・4層	灰白	5Y7/1	灰白	5Y7/1	ナデ	ナデ		(5.3)	(13.4)	0.5
218	楽浪系筒形土器底部	原調事19	H11	不條E-14区	4号溝２層	灰白	2.5Y7/1	黄灰	2.5Y6/1	静止糸切り	ナデ		(2.5)	(3.9)	0.7
219	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11	不條E−21区	落ち込み３-２層	にぶい黄	2.5Y6/3	灰	5Y6/1	縄目タタキ	−		(6.6)	(6.1)	(0.5)
220	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11		4層上	黄灰	2.5Y6/1	黄灰	2.5Y6/1	縄目タタキ	平行当て具		(6.1)	(5.4)	0.6
221	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11		3層	灰白	5Y7/2	灰白	5Y8/1	縄目タタキ	ナデ	沈線	(7.8)	(5.8)	0.6
222	縄目タタキ瓦質土器	原調事19	H11	不條E−16区	土器溜２ａ層	灰白	10YR7/1	褐灰	10YR6/1	縄目タタキ	ナデ		(3.0)	(2.9)	0.7
223	楽浪系壺底部	原調事19	H11	不條E-21区	落ち込み３-２層	灰	N5/0	黄灰	2.5Y6/1	ナデ	ナデ		(4.4)	(5.7)	1.1
224	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-20区	落ち込み３-２層	オリーブ灰	5GY5/1	オリーブ灰	2.5GY5/1	ナデ	ナデ		(4.9)	(8.9)	0.5
225	楽浪系瓦質土器壺ヵ碗底部	原調事19	H11	不條E−21区	落ち込み３-２層	-	−	灰白	2.5Y7/1	−	ナデ	外面剥離	(2.1)	(2.7)	(0.3)
226	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11	不條E−21区	落ち込み３-２層	灰白	5Y7/1	灰	5Y5/1	ナデ	ナデ		(2.3)	(4.8)	0.4
227	楽浪系瓦質土器壺胴部	原調事19	H11	不條E-21区	落ち込み３-２層	灰白	10YR7/1	灰	5Y5/1	ナデ	ナデ	沈線	(4.5)	(6.4)	0.4
228	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11	不條B区	４ｄ層	灰白	5Y7/1	灰	5Y6/1	ナデ	平行当て具		(7.5)	(8.1)	0.8
229	楽浪系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-15区	４ｂ層	灰白	5Y7/1	灰白	5Y7/1	ナデ	平行当て具		(10.8)	(17.1)	0.9
230	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條C-４区	2層	灰	N6/0	灰白	N7/0	縄目タタキ	ナデ	沈線	(9.0)	(7.1)	0.8
231	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-23区	2層	灰	5Y5/1	灰	5Y4/1	縄目タタキ	ナデ	沈線	(4.3)	(3.7)	0.4
232	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-20	落ち込み３-２層	暗灰黄	2.5Y5/2	灰白	2.5Y7/1	平行タタキ	ナデ	沈線	(2.0)	(2.9)	0.6
233	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-６区	３ａ層	灰	N5/0	灰	N6/0	縄目タタキ	ナデ		(7.5)	(6.4)	0.8
234	三韓系瓦質土器壺	原調事19	H11	不條B-15区	４ｂ層	灰	N5/0	灰	N4/0	方格タタキ	ナデ	沈線	(3.7)	(5.9)	0.6
235	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-16区	土器溜	灰	5Y6/1	灰	N4/0	方格タタキ	ナデ	沈線	(4.3)	(4.9)	0.5
236	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-21・22区	３ａ層	明褐灰	7.5YR7/2	にぶい橙	5YR6/3	方格タタキ	ナデ	軟質,沈線	(6.6)	(6.6)	0.5
237	三韓系瓦質土器壺肩部	原調事19	H11	不條B-20区	2層	灰白	5Y7/1	灰白	5Y7/1	方格タタキ	ナデ	沈線	(4.4)	(6.4)	0.8
238	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-20区	2層	灰白	2.5Y7/1	灰	5Y6/1	方格タタキ	ナデ		(5.3)	(5.2)	0.6
239	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-21区	３ａ層	にぶい橙	7.5YR7/4	灰	5Y5/1	方格タタキ	ナデ	軟質,沈線	(3.0)	(6.1)	0.6
240	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-10区	３ｂ層	にぶい黄	2.5Y6/4	にぶい黄	2.5Y6/3	方格タタキ	ナデ	焼成後穿孔	(3.7)	(6.1)	0.6
241	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-18区	落ち込み３-２層	黄灰	2.5Y6/1	灰黄	2.5Y6/2	方格タタキ	ナデ		(2.8)	(4.0)	0.5
242	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-23・24区	2層	灰白	2.5Y8/2	灰白	2.5Y7/1	方格タタキ	ナデ	沈線	(4.8)	(3.8)	0.9
243	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-21区	3層	にぶい褐	7.5YR6/3	灰黄褐	10YR6/2	方格タタキ	ナデ	軟質	(3.9)	(3.0)	0.8
244	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-20区	落ち込み３-２層	灰	N5/0	灰	N4/0	方格タタキ	ナデ		(3.5)	(3.0)	0.9
245	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-19区	2層	灰	N6/0	灰	N6/0	方格タタキ	ナデ		(3.9)	(6.2)	0.6
246	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-20区	3層	黄灰	2.5Y6/1	灰	5Y5/1	方格タタキ	ナデ		(5.6)	(5.0)	0.6
247	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-20区	3層	灰	5Y6/1	灰	5Y6/1	方格タタキ	ナデ		(2.6)	(2.6)	0.6
248	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-20区	3層	灰白	5Y7/1	灰	5Y6/1	方格タタキ	ナデ		(3.1)	(2.5)	0.5
249	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-20区	3層	灰	5Y6/1	灰	5Y5/1	方格タタキ	ナデ		(6.1)	(3.4)	0.6
250	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-19区	1号土器溜	灰白	2.5Y7/1	灰	N6/0	方格タタキ	−		(4.5)	(5.9)	(0.4)
251	三韓系瓦質土器	原調事19	H11			黄灰	2.5Y6/1	黄灰	2.5Y6/1	方格タタキ	ナデ		(7.9)	(5.1)	0.8
252	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-22区	2層	浅黄	2.5Y7/3	灰白	2.5Y7/1	方格タタキ	ナデ		(6.1)	(8.1)	1.1
253	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-19区	1号土器溜	灰	5Y6/1	灰	5Y6/1	方格タタキ	−		(1.9)	(2.8)	(0.4)
254	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-22区	落ち込み３-２層	灰黄	2.5Y7/2	黄灰	2.5Y6/1	平行タタキ	ナデ	沈線	(3.5)	(4.8)	0.7
255	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條E-22区	落ち込み３-２層	灰	5Y6/1	灰	2.5Y6/1	平行タタキ	ナデ	沈線	(3.8)	(6.4)	0.8
256	三韓系瓦質土器	原調事19	H11	不條B-18区	４ｂ層	明黄褐	2.5Y7/6	明黄褐	10YR6/6	平行タタキ	ナデ		(4.7)	(4.0)	1.1
257	陶質土器壺口縁	原調事19	H11	不條B-11区	3層	褐灰	7.5YR5/1	灰赤	2.5YR5/2	ナデ	ナデ		(3.6)	(5.9)	0.6
258	陶質土器	原調事19	H11	不條A-７区	２ａ層	灰	N5/0	灰	N5/0	縄目タタキ	ナデ	沈線	(4.9)	(4.2)	0.95
259	陶質土器	原調事19	H11	不條A-８区	２ａ層	灰	5Y5/1	にぶい褐	7.5YR5/3	縄目タタキ	ナデ		(4.2)	(4.6)	0.9
260	陶質土器	原調事19	H11	不條B-18区	４ｂ層	灰	N5/0	灰	N5/0	ナデ	ナデ		(4.1)	(3.2)	0.7
261	陶質土器	原調事19	H11	不條E-18区	落ち込み３-２層	灰褐	7.5YR5/2	灰	N5/0	ナデ	ナデ		(5.4)	(6.7)	0.6
262	陶質土器壺胴部	原調事19	H11	不條E-18区	落ち込み３-２層	灰	N5/0	灰	N6/0	ナデ	ナデ		(11.6)	(9.5)	0.8
263	陶質土器	原調事19	H11	不條B-18区	４ｄ層	灰	N5/0	灰	N5/0	ナデ	ナデ		(3.1)	(1.6)	0.5
264	陶質土器壺胴部	原調事19	H11	不條E-18区	落ち込み３-２層	灰	N5/0	灰	N6/0	ナデ	ナデ		(6.0)	(4.0)	0.8
265	陶質土器	原調事19	H11	不條B-21区	3層	暗青灰	5B4/1	青灰	5B5/1	ナデ	ナデ		(3.3)	(5.6)	0.7
266	陶質土器壺頸部	原調事19	H11	不條B-14区	3層	褐灰	10YR5/1	褐灰	10YR5/1	カキメ	ナデ		(5.4)	(3.4)	0.6
267	陶質土器壺胴部	原調事19	H11	不條B-14区	3層	灰褐	5YR5/2	黄灰	2.5Y5/1	カキメ	ナデ		(4.8)	(4.8)	0.6
268	陶質土器	原調事19	H11	不條B-13区	3層	褐灰	7.5YR5/1	褐灰	5YR5/1	方格タタキ・カキメ	当て具痕		(5.8)	(5.5)	0.5
269	陶質土器?	原調事19	H11	不條B−13区	3層	灰褐	5YR5/2	灰褐	5YR5/2	方格タタキ	平行当て具		(7.9)	(4.2)	0.7
270	三韓系瓦質土器	原調事20	H11	八反20区	2層	灰白	10YR7/1	褐灰	10YR6/1	方格タタキ	ナデ		(5.0)	(5.5)	0.9
271	円形粘土帯土器粘土帯	原調事22	H12	不條Ⅰ-７区	1号溝２層	灰黄褐	10YR5/2	−	−	ナデ	ナデ		(1.2)	(3.9)	1.4
272	円形粘土帯土器粘土帯	原調事22	H12	不條Ⅰ-10区	3号溝	にぶい橙	5YR6/3	−	−	ナデ	ナデ		(0.9)	(2.9)	0.7
273	円形粘土帯土器口縁	原調事22	H12	不條Ⅰ-７区	1号溝２層	灰白	10YR8/2	灰白	10YR8/2	ナデ	ナデ		(2.3)	(4.5)	0.5
274	円形粘土帯土器口縁	原調事22	H12	不條Ⅰ-10区	3号溝	灰黄褐	10YR6/2	にぶい橙	7.5YR7/3	ナデ	ナデ		(2.0)	(5.5)	0.7
275	円形粘土帯土器口縁	原調事22	H12	不條Ⅰ-７・８区	1号溝２層	黄灰	2.5Y6/1	灰白	5Y7/1	ナデ	ナデ		(2.0)	(5.9)	0.7
276	陶質土器	原調事22	H12	大川６区	1層	黄灰	2.5Y4/1	暗オリーブ灰	2.5GY4/1	縄目タタキ	ナデ	沈線	(4.3)	(3.8)	0.7

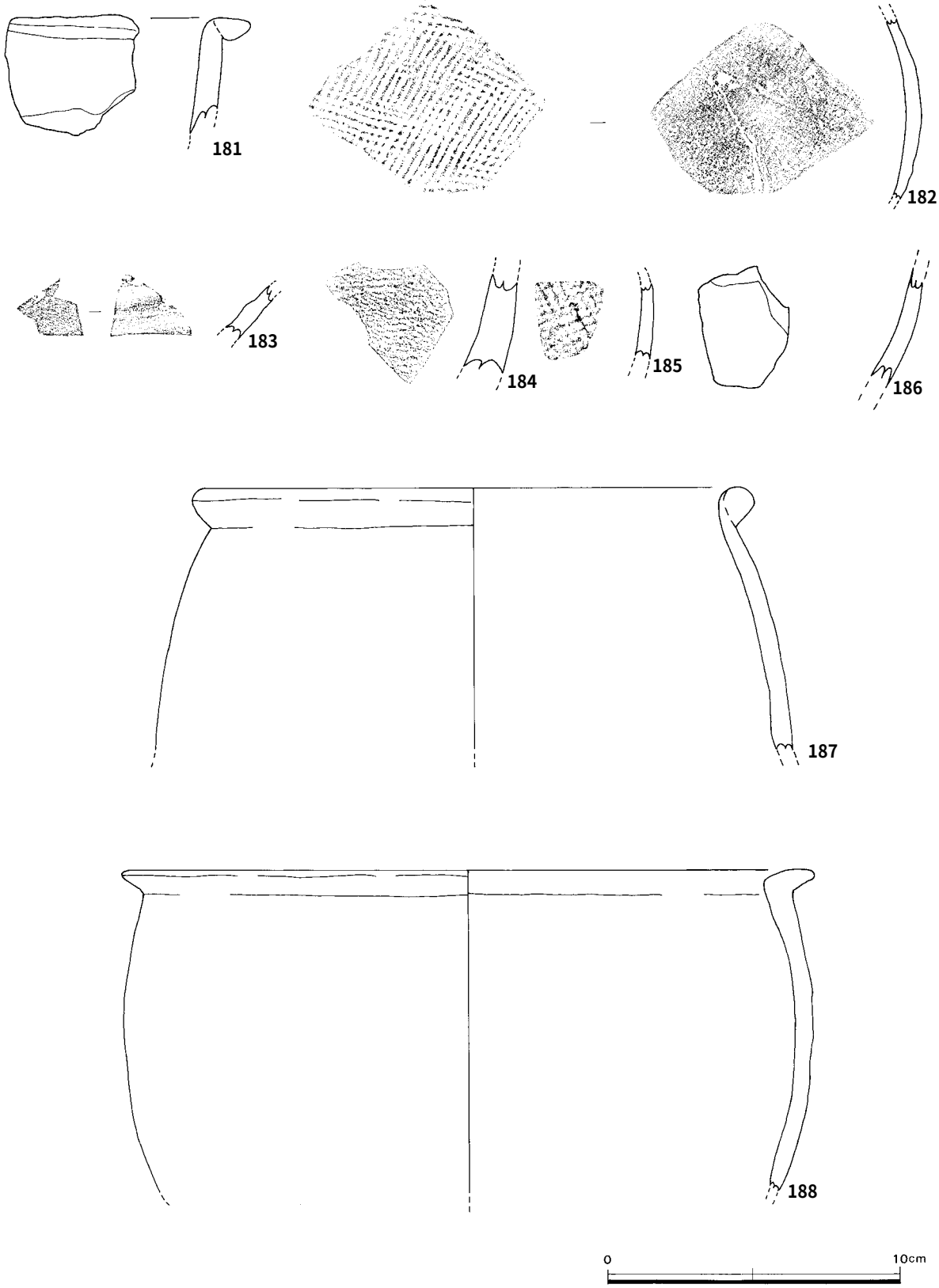


図17　原調事１，４集　外来系土器①（1/2）

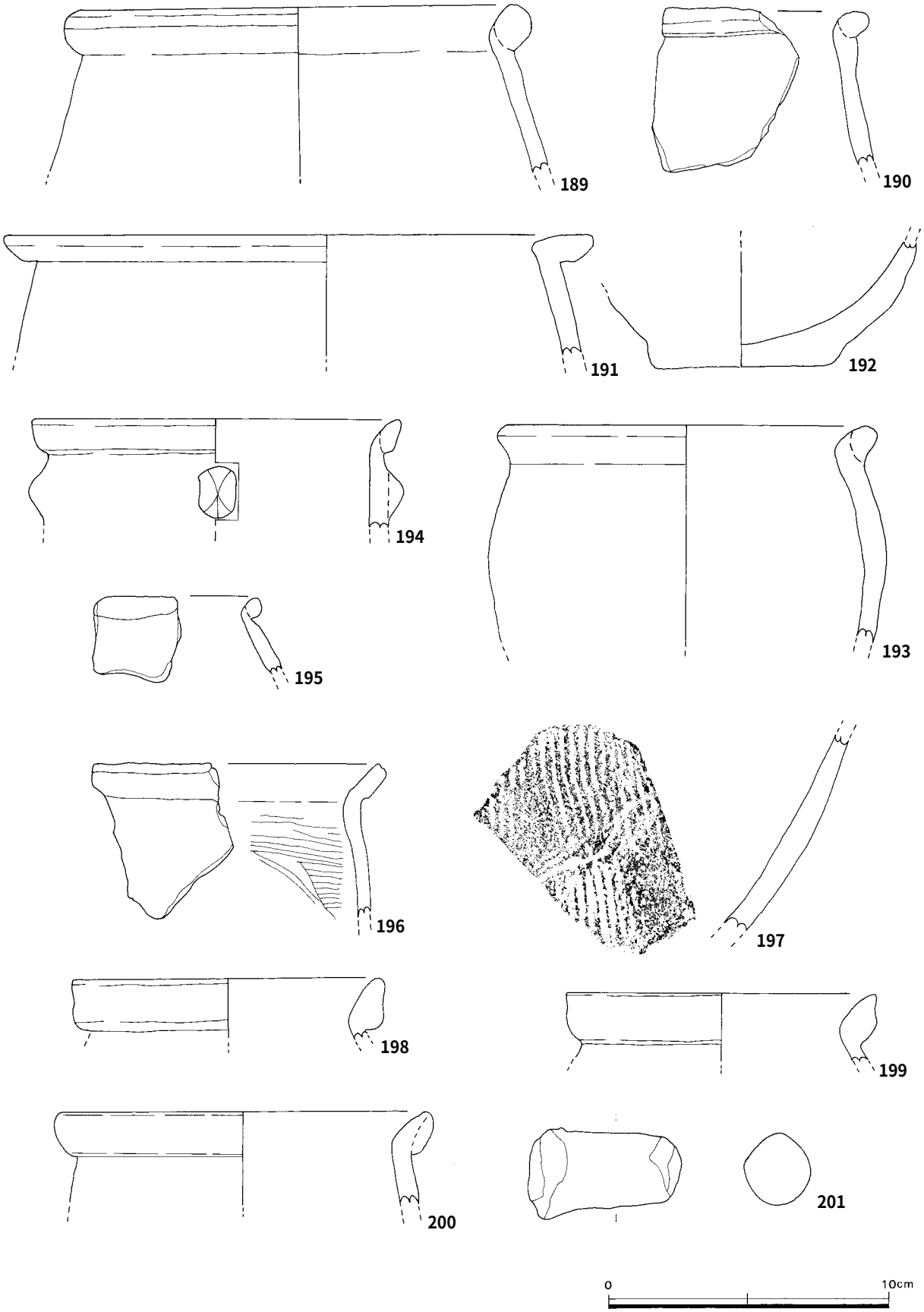


図18　原調事９，11，16集　外来系土器②（1/2）

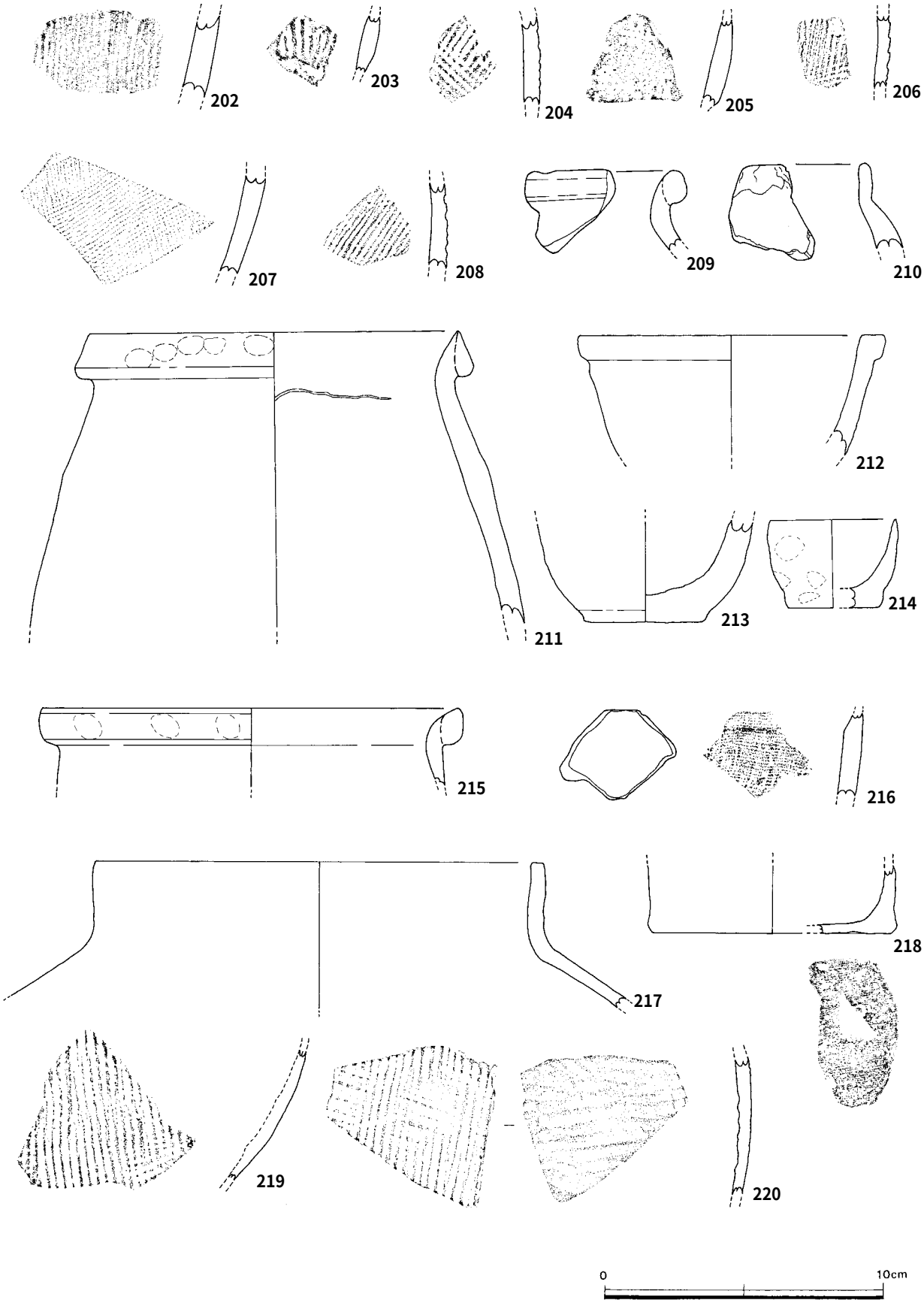


図19　原調事18，19集　外来系土器③（1／2）

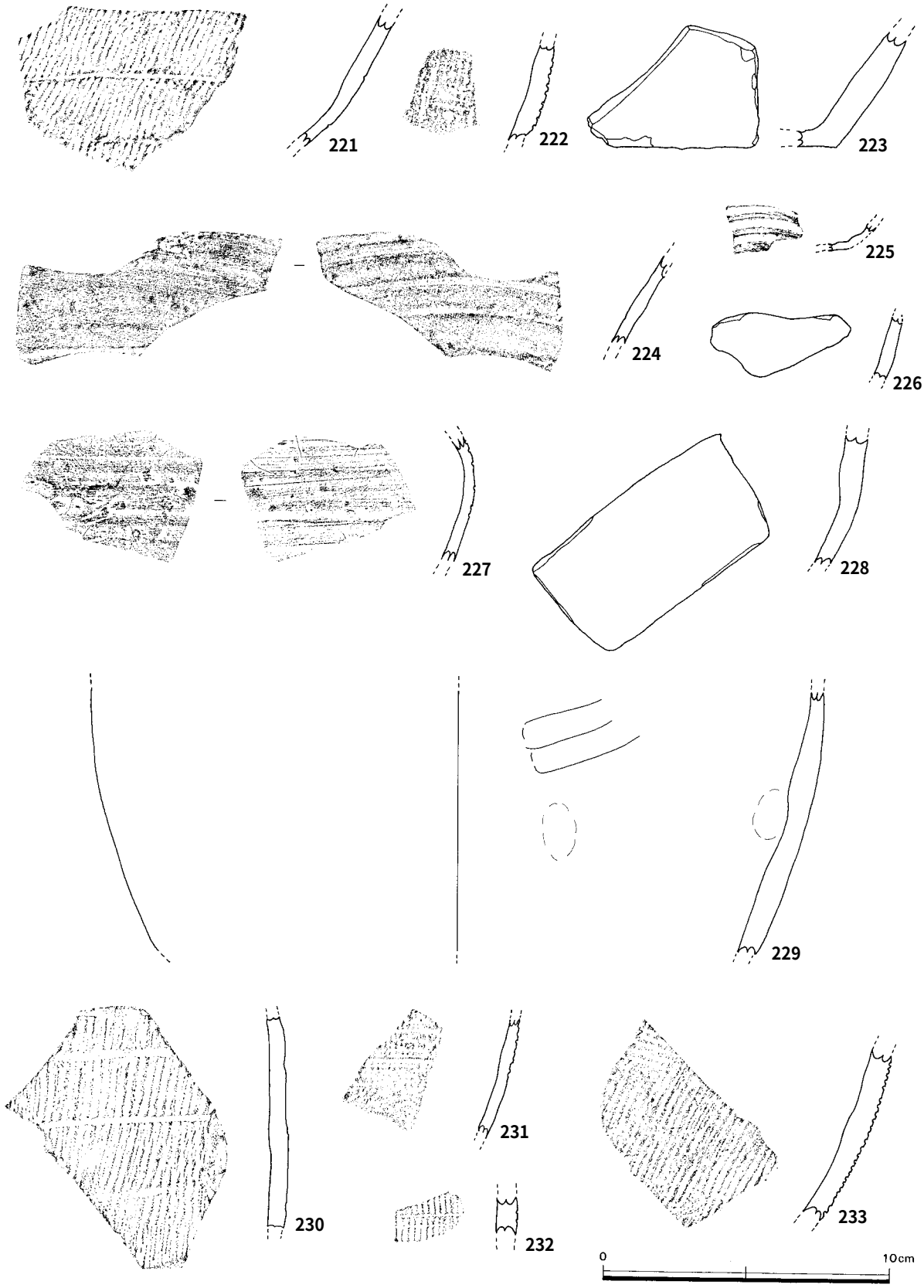


図20　原調事19集　外来系土器④（1/2）

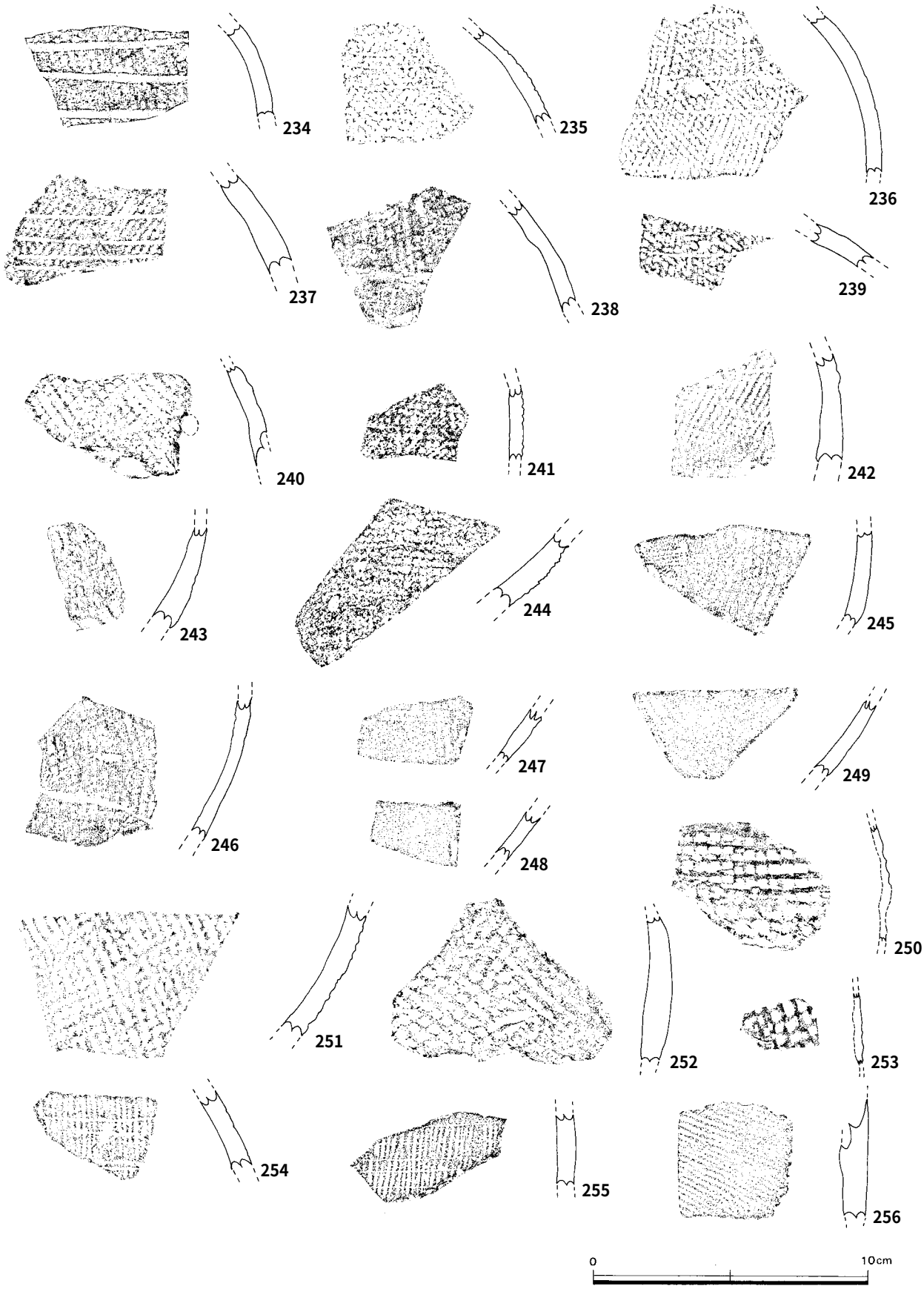


図21　原調事19集　外来系土器⑤（1/2）

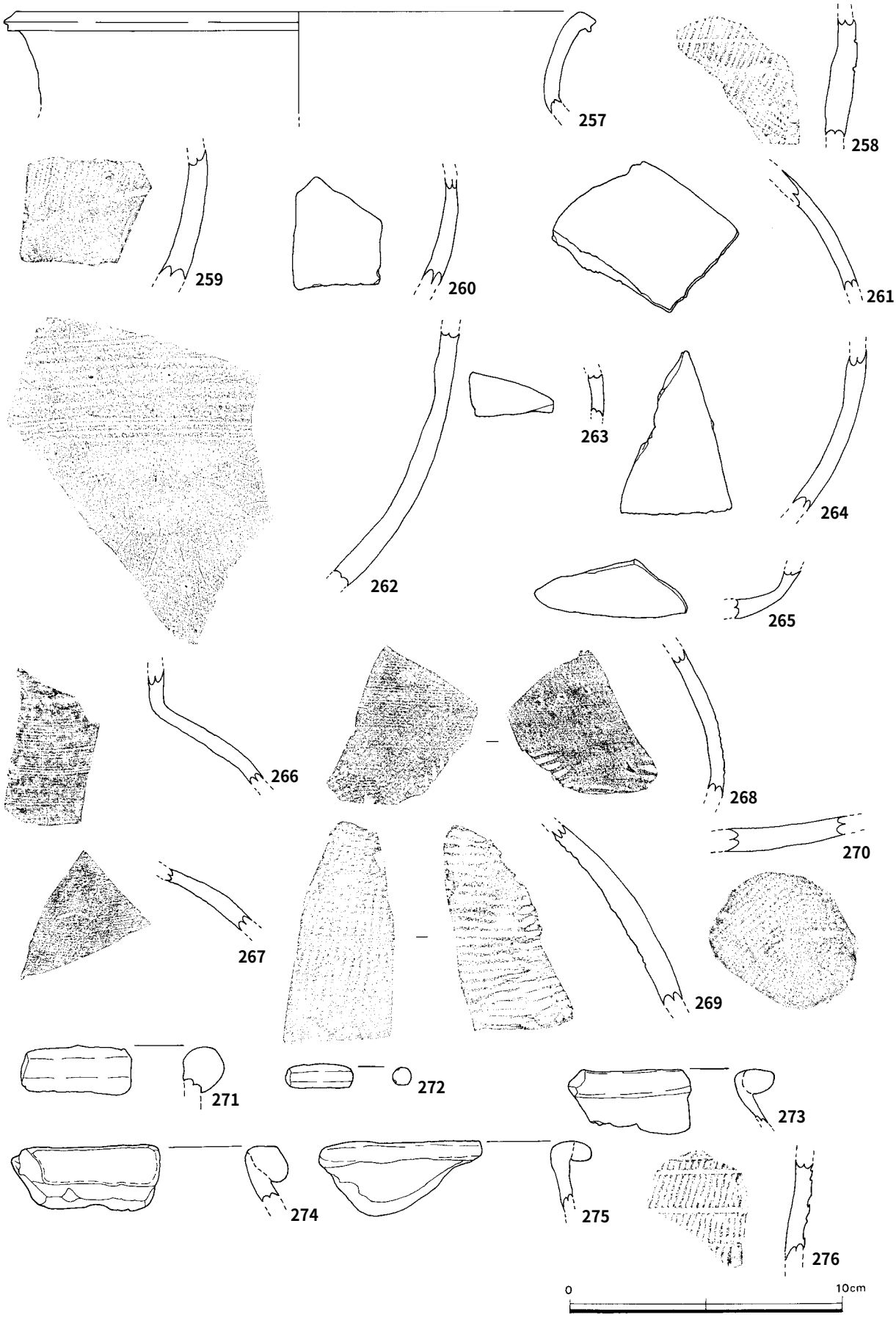


図22　原調事19，20，22集　外来系土器⑥（1/2）

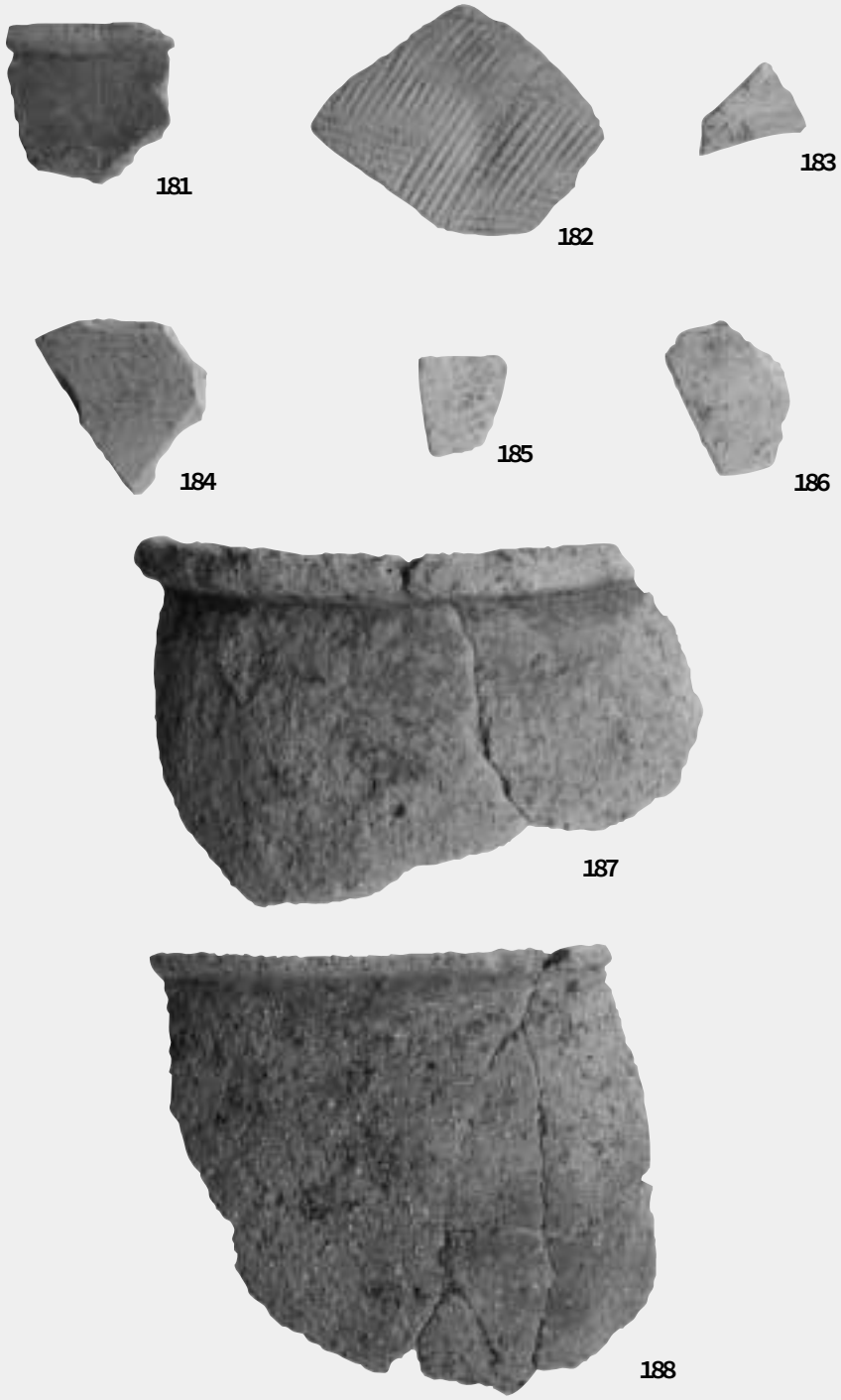
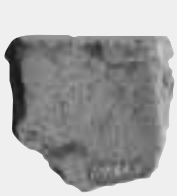
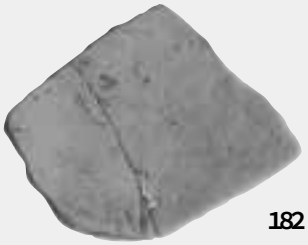
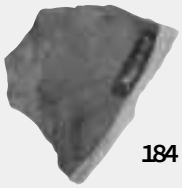


写真22　外来系土器①　外面（約１/２）

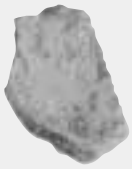

181


182

183


184

185


186

187

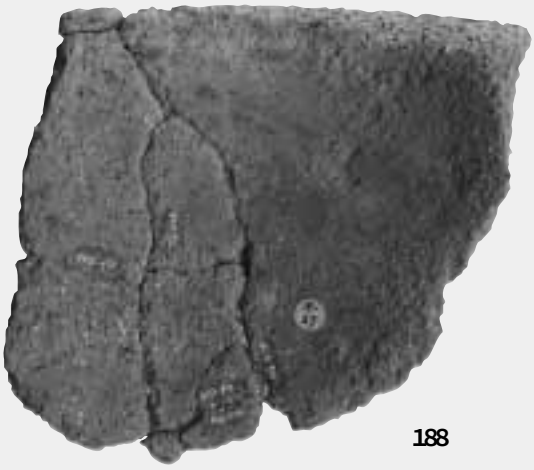

188

写真23　外来系土器①　内面（約１/２）

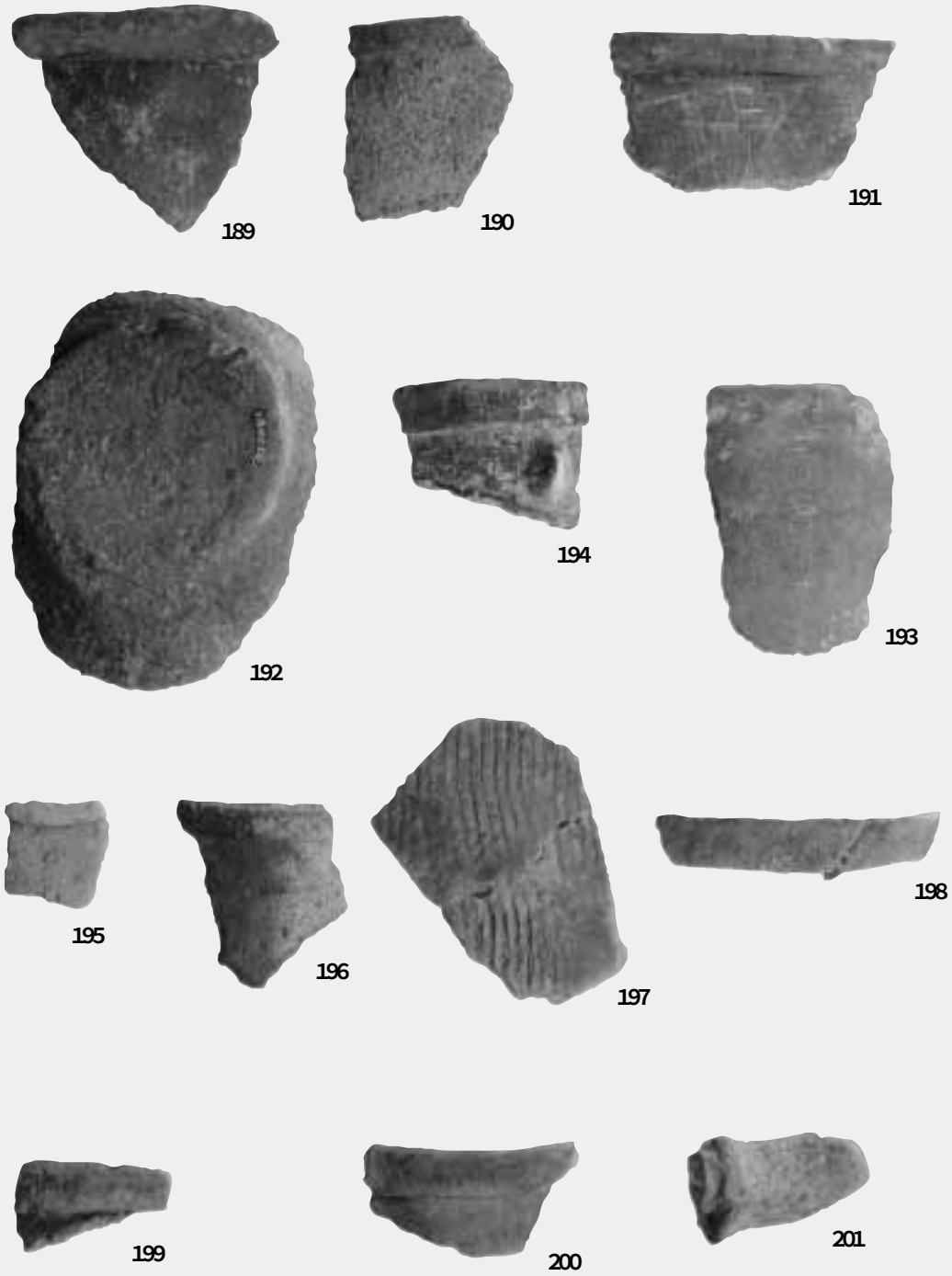


写真24　外来系土器②　外面（約１/２）

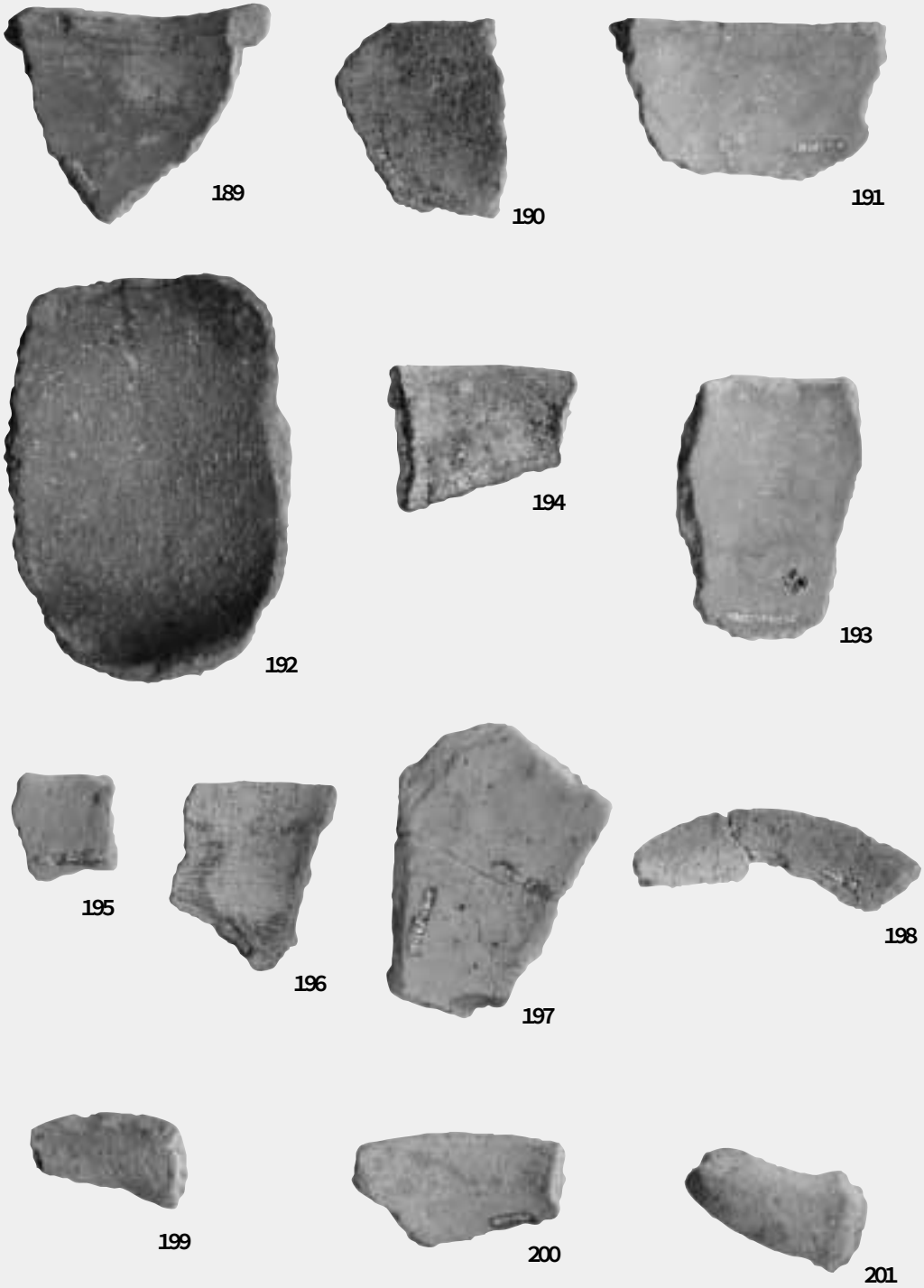


写真25　外来系土器②　内面（約１／２）

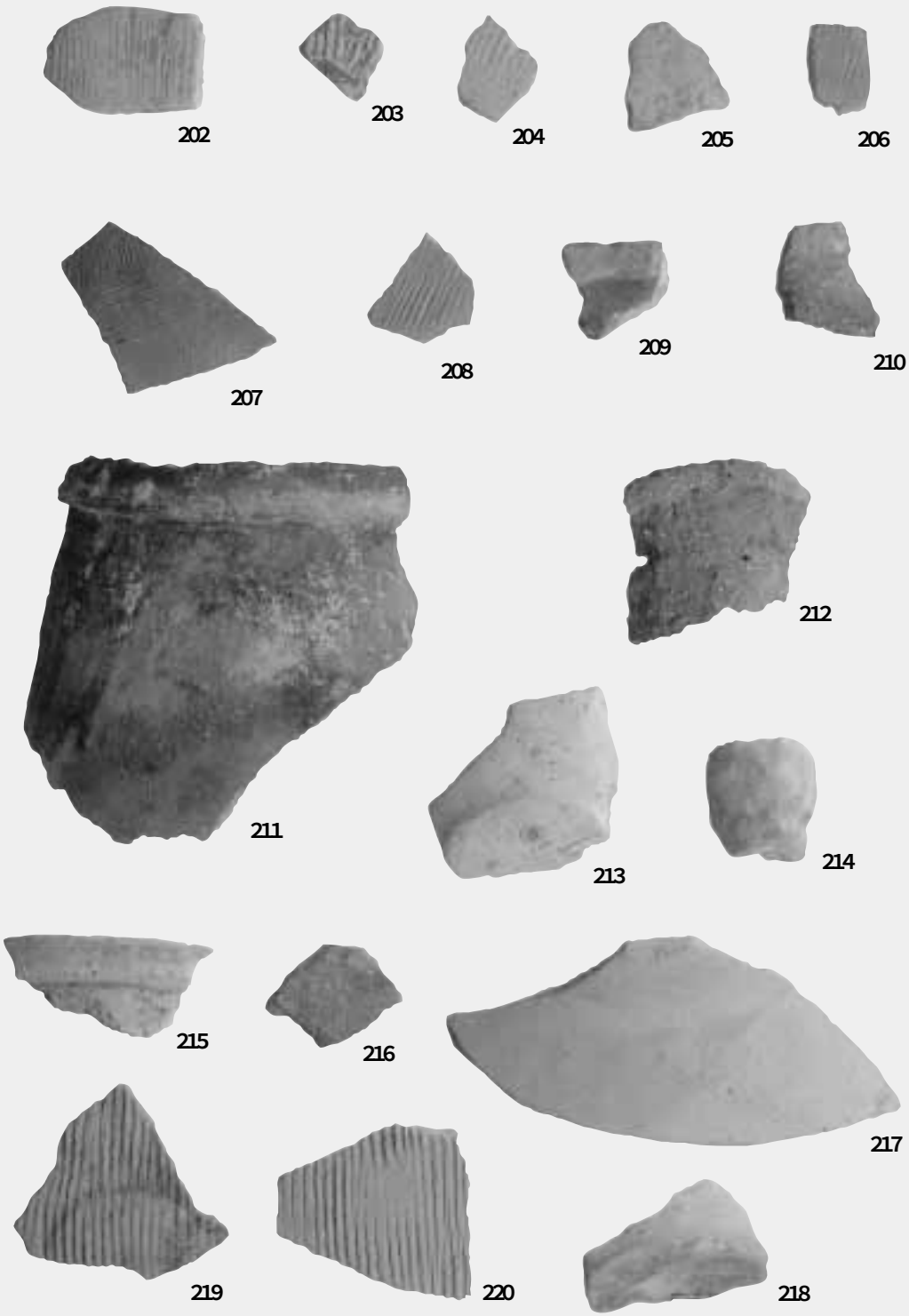


写真26　外来系土器③　外面（約１/２）

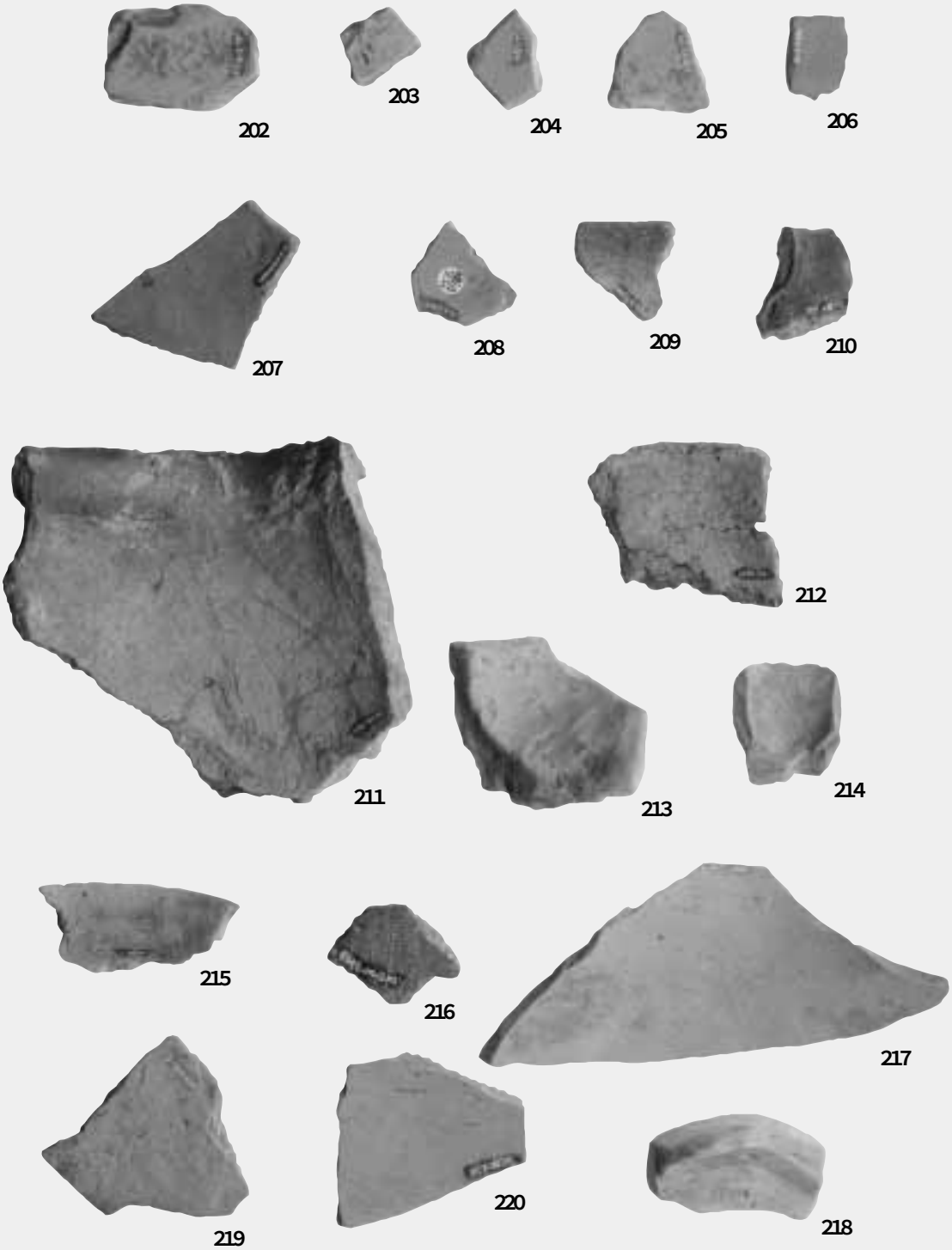


写真27　外来系土器③　内面（約１/２）

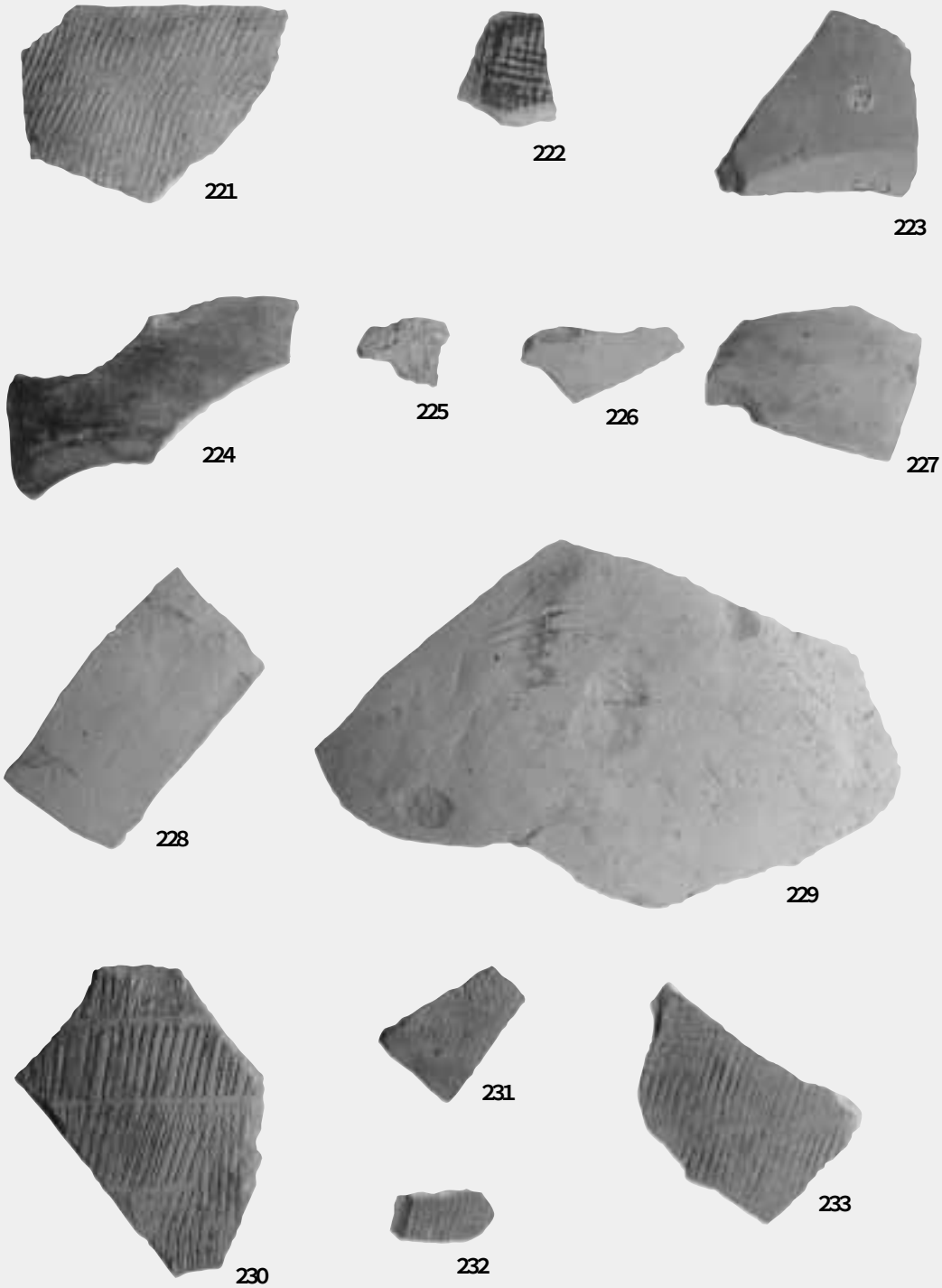


写真28　外来系土器④　外面（約１/２）

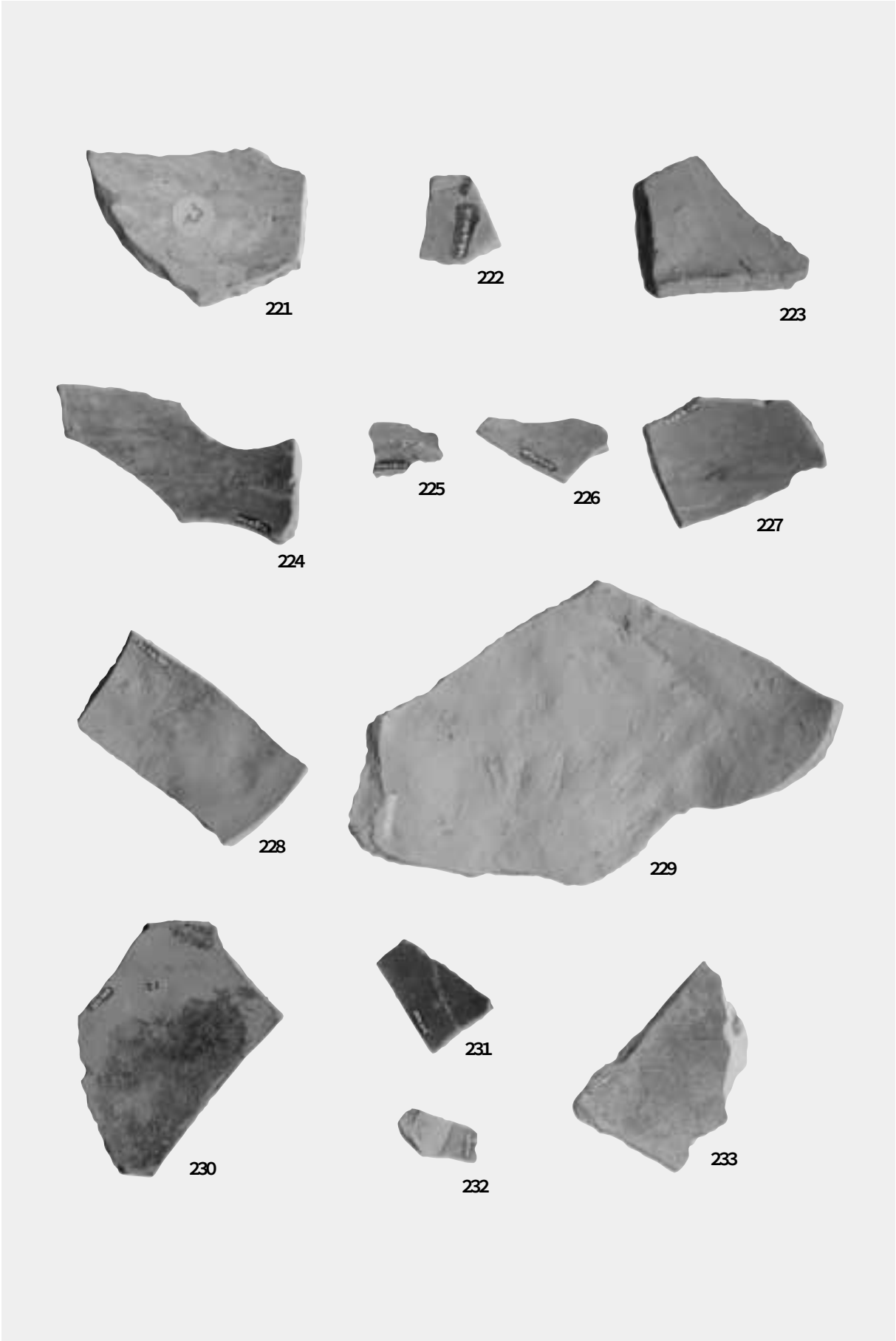


写真29　外来系土器④　内面（約１/２）

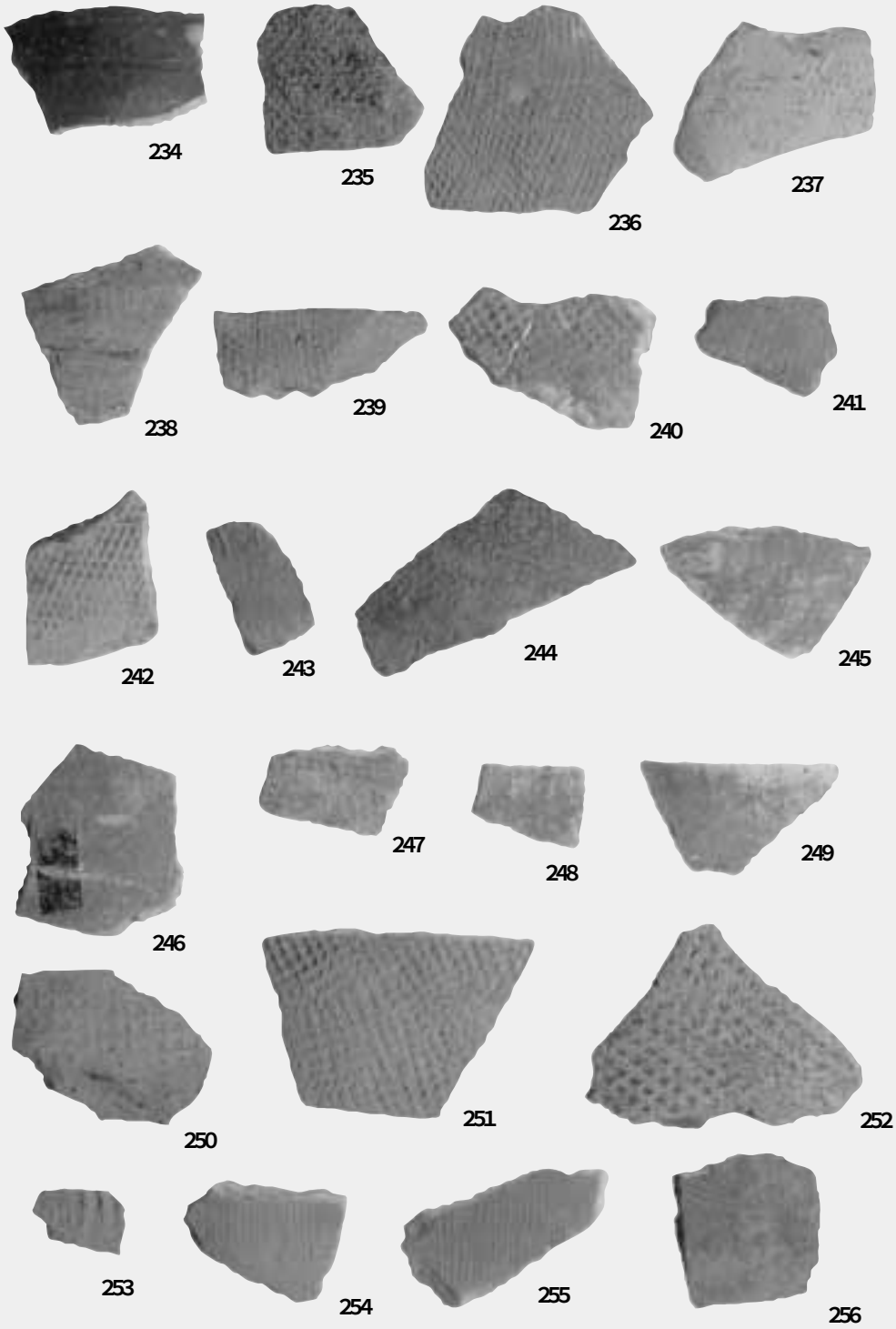


写真30　外来系土器⑤　外面（約１／２）

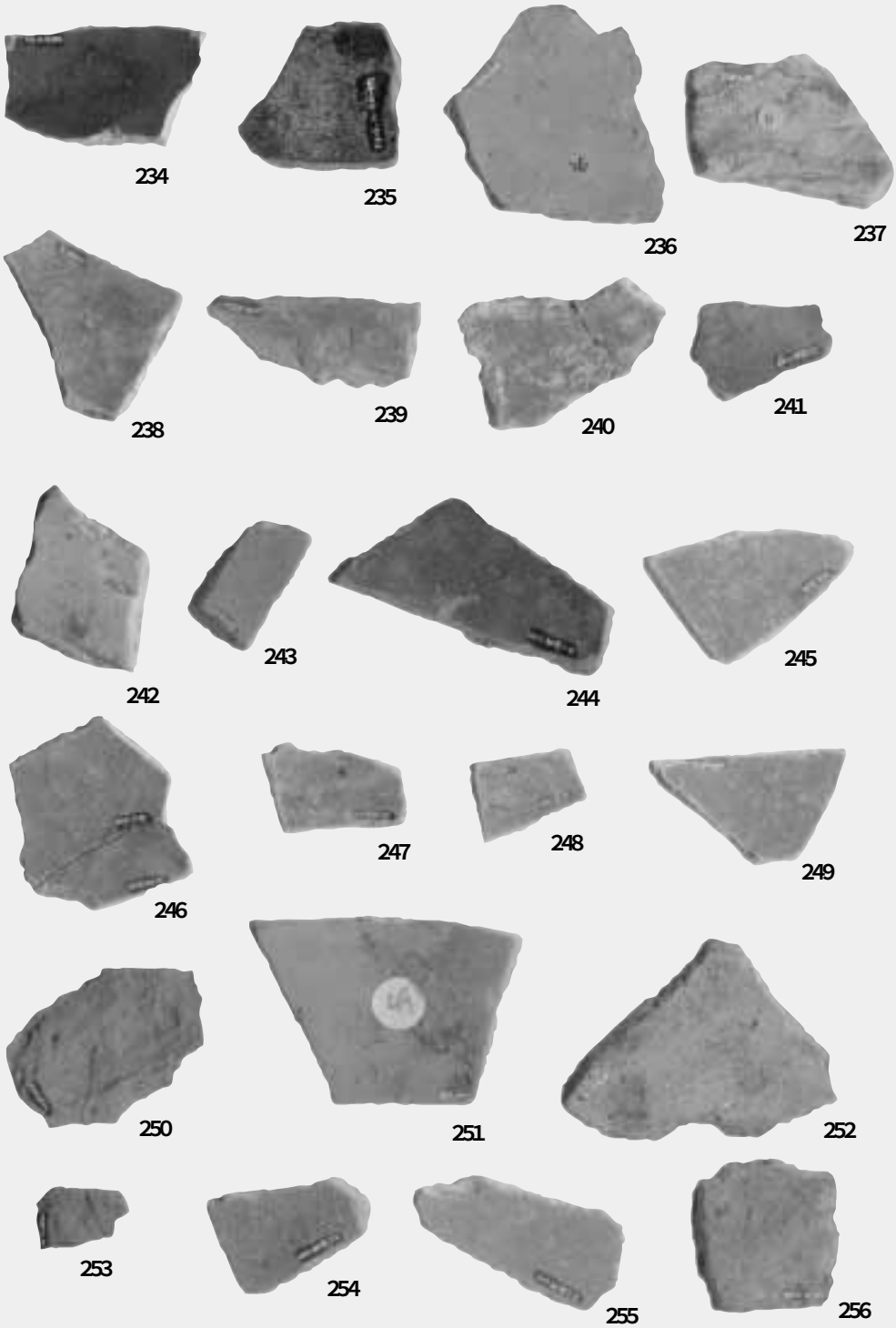


写真31　外来系土器⑤　内面（約１/２）

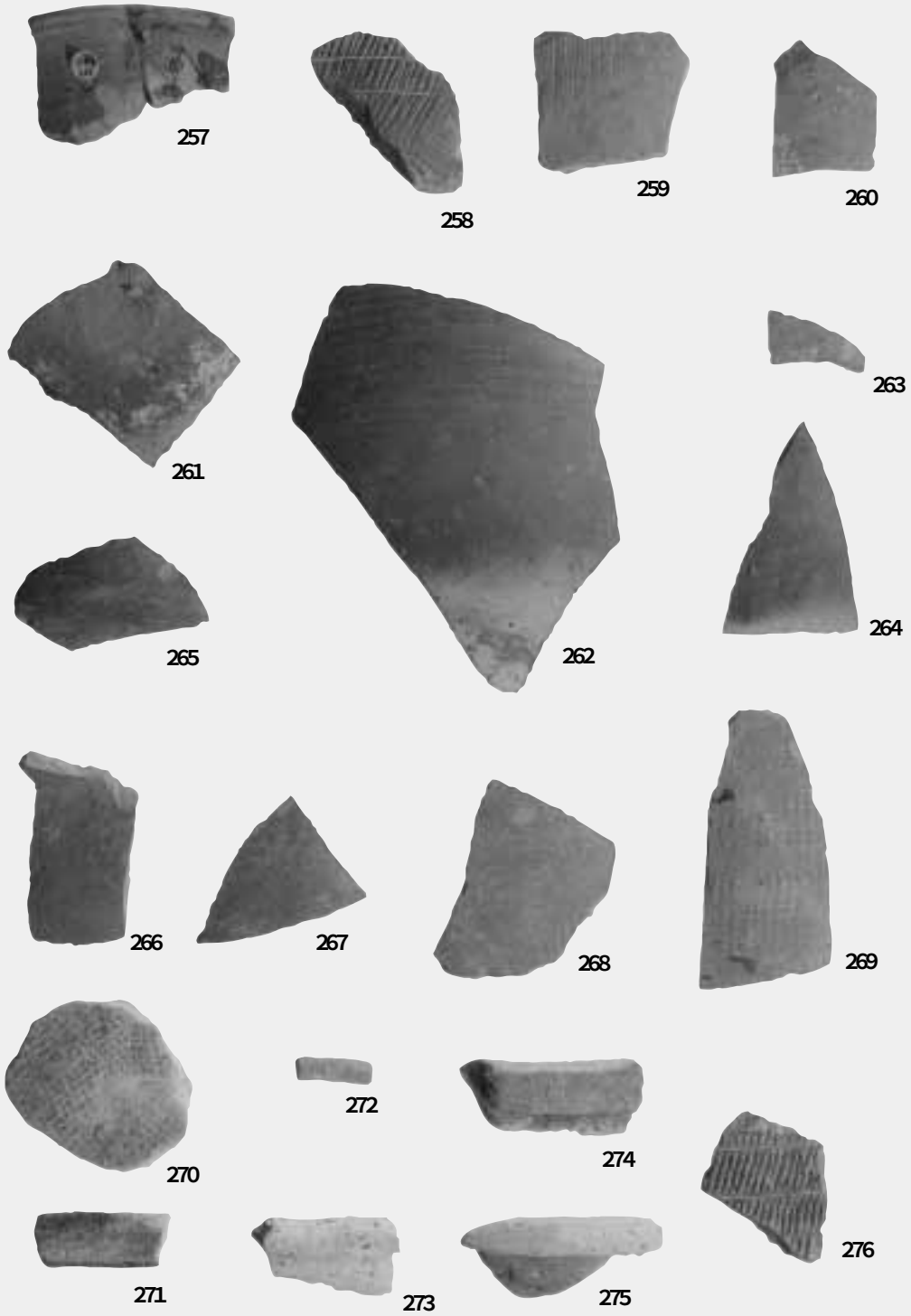


写真32　外来系土器⑥　外面（約１/２）

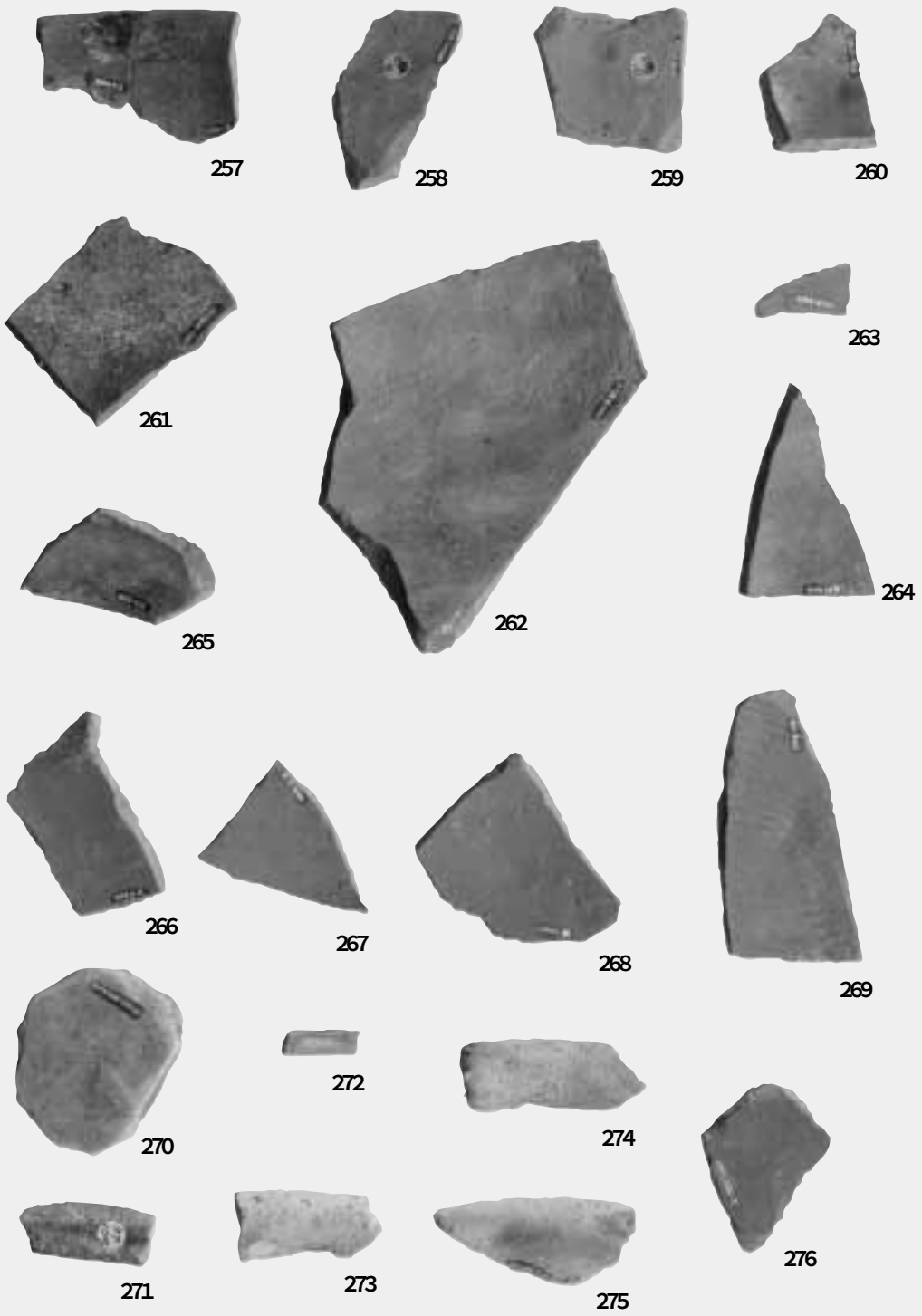


写真33　外来系土器⑥　内面（約１/２）

報告書抄録

ふりがな	はるのつじいせき
書名	原の辻遺跡
副書名	平成23年度緊急雇用創出事業長崎県埋蔵文化財センター・原の辻遺跡出土品再整理事業に伴う報告書
巻次	
シリーズ名	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	6
編著者名	古澤義久・林隆広
編集機関	長崎県教育庁長崎県埋蔵文化財センター
所在地	〒811-5322　長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1　TEL0920（45）4080
発行年月日	2012年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
原の辻遺跡（はるのつじ）	長崎県（ながさきけん） 壱岐市（いきし） 芦辺町（あしべちょう） 深江鶴亀触（ふかつるつるきふれ）	42210	424	33°45′30″	129°45′55″			

収録遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
原の辻遺跡	集落	旧石器時代 弥生時代 古墳時代			

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第６集

原の辻遺跡

2012. 3. 31

発行　長崎県教育委員会
　　長崎市江戸町２番13号

印刷　株式会社　昭和堂